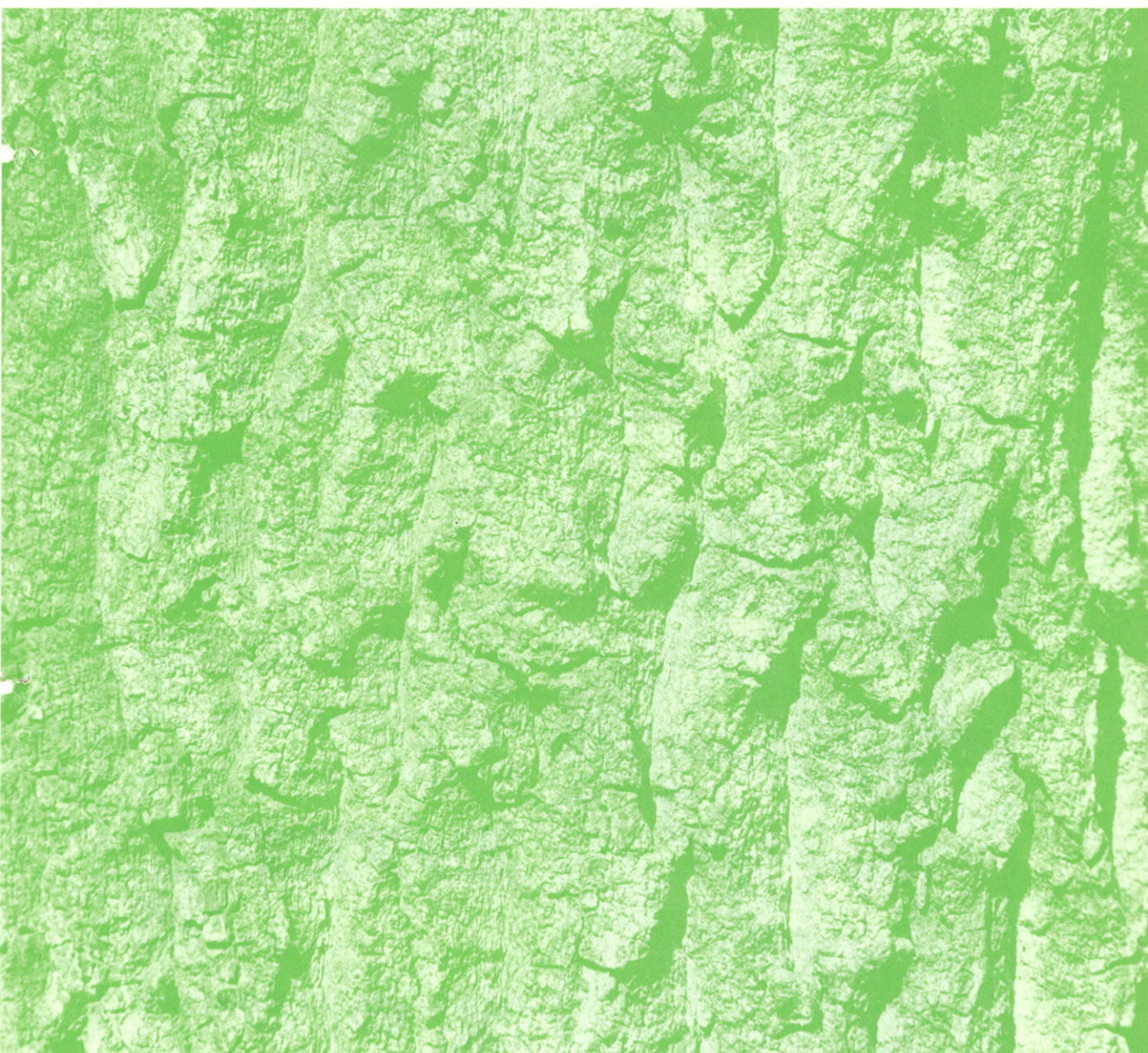


植調

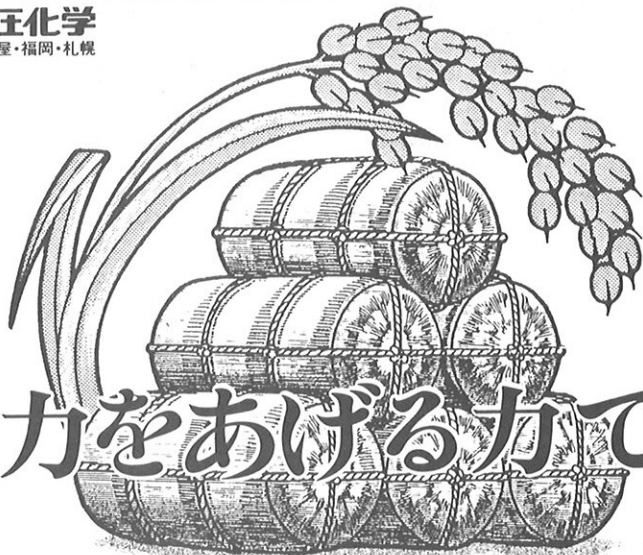
第20卷第11号



財団法人 日本植物調節剤研究協会編



三井東圧化学
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌



農力をあげる力です。

水田初期一発処理剤

オーザ[®] 粒剤

ホタルイ等に卓効を示す初期除草剤

ショウロンM[®] 粒剤

水田全天候型除草剤

グラノック[®] 粒剤

水田問題雑草にシャープなきれあじ

ストップラン[®] 粒剤

経済的な初期除草剤

MO[®] 粒剤-9

水田初期一発処理剤

ヨートル[®] 粒剤

効きめで
選ぶ。
経済性で
決める。

苗にやさしく

雑草に強い水田初期除草剤

- 効めが長く、すばらしい殺草力を発揮。
- 低温でもイネに対して安全。
- 人畜毒性、魚毒性ともにきわめて低く、安心。
- 田植前に使用の場合は散布後3日以上の間隔をあけて田植する。
- 田植後に使用の場合は田植後8日(ノビエ1葉)までに散布する。
- 散布後3日間以上は止水にし、かけ流しはしない。

エックスゴーニ[®]
粒剤

®は日本農薬と石原産業の共有登録商標

エックスゴーニ協議会



○本剤のシンボルマークです



日本農薬株式会社
〒103 東京都中央区日本橋1-2-5



石原産業株式会社
〒102 東京都千代田区富士見2-10-30

低コスト稲作農法について

昨年10月アメリカの水稲直播栽培をみて来た。その感想をのべると、直播栽培面積は約100万ha、様式はカリフォルニアの湛水直播、その他が大体乾田直播である。生産量はha当り粃で平均5.6t/ha、カリフォルニアで8.2t/haであった。日本と同じかやや高かった。総生産量は約600万トン、生産の40%は国内消費、60%が輸出である。米価は平均24\$/60kg、カリフォルニアのKoruharoseは40\$/60kgで、それでもわが国の1/3程度であった。栽培はすべて大型の機械化農業であり、経営規模も3,000～8,000haと大型であった。

次に栽培法の概要を述べると、まず驚いたのは、カリフォルニアの湛水直播の大部分の作業が乾田状態で行なわれていることである。耕耘～整地～施肥～均平～播種溝など、特に均平作業にレーザー・ビームが使用され、これが均平に重大な極め手になっていたことである。それに灌水の水は8,020円/haと有料であったことである。

レーザー・ビームのコストは110\$/haとのことであった。労働生産性は国府田農場の例で1.7人/haで、日本の50人/haにくらべ、労働生産性が高いことである。用いる品種は直播用品種で、低温発芽、苗立ちが高く、耐倒伏性も高く、しかも短稈(約75cm前後)、分ケツ数も3～4本、着粒数も90～130粒であった。わが国の移植用品種とは異なっている。施肥はカリフォルニアは窒素、その他は窒素と磷酸を下層施肥である。輪作形態はカリフォルニアは稲～稲、その他は稲～大豆～大豆などが行なわれている。その他雑草防除(ノ

目次 (第20巻第11号)

低コスト稲作農法について

巻頭言	1
＜財団法人 日本植物調節剤研究協会 専務理事 吉沢長人＞	
ブドウのハウス栽培における生育調節剤の利用	2
＜大阪府農林技術センター 奥田義二＞	
昭和60年度冬作(麦作・いぐさ・水稲刈跡)関係除草剤試験成績概要	9
昭和61年度夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績概要	14
昭和61年度畑作関係除草剤試験成績概要	39
昭和61年度水稲・畑作関係生育調節剤試験成績概要	46
＜財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部＞	

ビエ、タマガヤツリ)に除草剤(モリネート、チオベンカーブ、プロバニル)の散布が行なわれ、その他は行なわれない。

このようにアメリカその他先進諸国は低コスト稲作農業として、直播栽培にかわってしまった。それがわが国は移植水稲栽培が行なわれている。わが国でも直播栽培に向く、関東以西に今少し積極的に水稲直播栽培を推進する必要があると思われる。それに品種改良事業も、2～3の場所を直播栽培用にし、積極的に直播栽培に取り組んで行くことが、低コスト稲作農法成功の秘訣でないかと思う。

[財団法人 日本植物調節剤研究協会 専務理事 吉沢長人]

ブドウのハウス栽培における 生育調節剤の利用

大阪府農林技術センター 奥田義二

1. はじめに

ブドウのハウス栽培は、昭和32年に大阪府において大型のビニルハウスで初めて試作され、その後、実用性が実証されるにしたがって、ブドウの主産地で栽培が始まった。40年代に入ると、ハウス用鋼管の普及と促成果実の好市況に支えられて、栽培面積が全国的に急増した。

そして、48年の石油ショック以後は一時的に増加が止ったが、近年は、病害回避による生産の安定化や労力の分散化などを目標に面積の増加が続いている。61年8月の農林水産省果樹試験場の調査によると、全国のハウスブドウ栽培（雨除け作型も含めた）面積は6,200haに達しており、ブドウ全栽培面積の約24%に相当し、また果樹類のハウス栽培の中ではブドウが圧倒的に多く（73%の比率）、北海道から九州のほとんどの府県で栽培が行われている。作型も分化しており、

早期加温の果実は4月下旬から出荷が始まり、露地栽培の出荷期まで継続的に販売されている現状であ

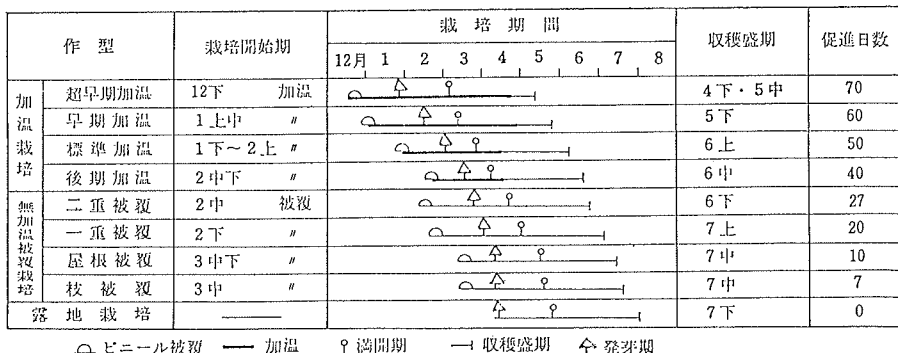
る。

一方、このハウス栽培の発展に伴って生育調節剤の利用も進展し、現在では、果実を無核にするジベレリンをはじめとして、ジベレリン添加剤のベンジルアデニン（BA）、発芽促進剤の石灰チッソやメリット青、花振るい防止剤のBーナイン、無核果の着色障害防止剤の硫酸マンガンなどが栽培の目的に応じて主体的に、また補助的に使用されている。

ここでは、ブドウハウス栽培の特徴と生育調節剤の上手な利用法について述べてみる。

2. ハウス栽培の作型

ハウス栽培のブドウ主要品種にはデラウエア、巨峰、ネオマスカットなどがあるが、いずれの品種においても作型（栽培方式）が分化している。例えば、栽培面積の最も多い早生種のデラ



第1図 デラウエアのハウス栽培の作型と生育時期、収穫期（大阪府）

ウェアについては、加温栽培（二重被覆）では超早期、早期、標準および後期の4加温作型に、無加温栽培では二重および一重の被覆作型と、雨除けのため屋根だけ被覆の作型ならびに枝だけ被覆の作型の4無加温作型に分類されている。また、最近では、ハウスの保温性向上のため三重被覆の加温および無加温作型や無加温の早期被覆作型などが新たに増加する傾向にある。

つぎに、大阪府における主要作型の生育期と熟期の促進（収穫期）との関係を示したのが第1図である。果実の収穫期は、露地の7月下旬に対して超早期の加温作型では4月下旬の早期となり、2カ月以上も促進される。そして、各作型を合せた収穫期は露地栽培の収穫期まで連続している。

これらの作型については、いずれも栽培メリットが十分にあるが、それと同時に立地条件などによる栽培上の制限や問題点もかかっている。したがって、経営においてはどの作型を選んで組合せれば、全体の経営利益が拡大し、合理化と安定化がはかれるか、また産地としてどの作型が立地的に適応し、どの作型に重点をおけば市場で優位を保ち、有利な販売ができるかなど、作型の選択と組合せが重要となっている。

3. ハウス栽培における熟期の促進

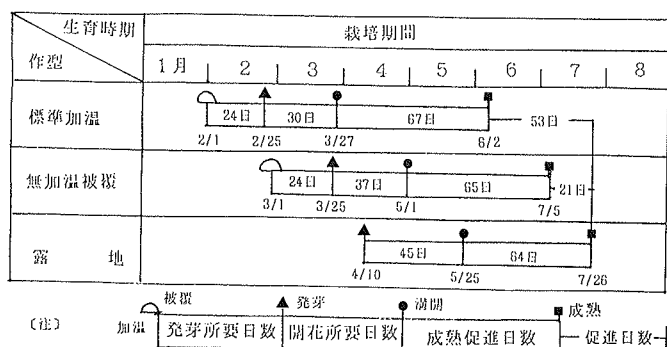
ハウス栽培を行うと熟期が促進し、早期出荷が可能となるとともに管理労力も前に配分され、経営上大きなメリットがある。

では、ブドウのハウス栽培の場合、熟期はどのように促進しているか、また熟期を効率的に促進させるにはどの時期に重点をおけばよいの

か。

第2図は、標準加温作型および一重無加温作型と露地栽培における生育時期、生育所要日数、熟期の促進日数を比較したものである。露地栽培に比べてハウス作型では、発芽が早く、発芽から満開までの所要日数が少なく、そのため満開期が大幅に促進されている。しかし、満開から成熟までの果実成熟に要する日数では露地栽培とほとんど差がなく、促進効果がない。

したがって、ハウス栽培の熟期の促進は満開に達するまでの期間に行われ、満開後の果実発育期間ではほとんど行われていない。そして、開花の促進は、①発芽の促進と、②発芽から満開までの生育期間の短縮からなっているため、



第2図 デラウェアの作型と生育所要日数の比較（大阪府）

熟期をより促進するには、発芽期を効率よく早くし、発芽から満開までの新梢（花蕾も含む）の生育期間を高温管理によってできるだけ短縮して、満開期を早めることになる。

なお、ブドウ以外のカキ、ミカン、モモなどの果樹においても、このように開花後の果実発育期間では熟期の促進効果がほとんどない特徴があり、ハウス栽培では開花の促進に重点をおいた温度管理が必要となっている。

4. 生育促進剤の利用と熟期の促進

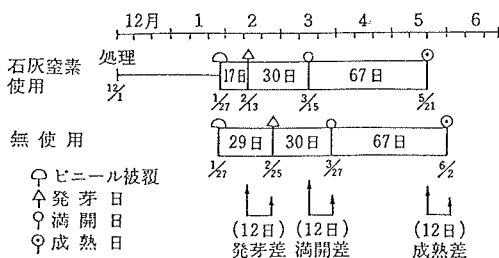
熟期の促進を主目的とするハウス栽培では生

育促進剤を活用することがきわめて合理的な方法であり、その経済効果も大きい。

現在、ブドウのハウス栽培で利用されている主な促進剤と熟期促進との関係を調べてみると、発芽を促進させるものには石灰チッソなどの発芽促進剤があり、開花から成熟までの果実発育期間を短縮するものにジベレリンがある。

1) 発芽促進剤の利用

ブドウの発芽促進として主として利用されているものには石灰チッソ、メリット青、硝安がある。



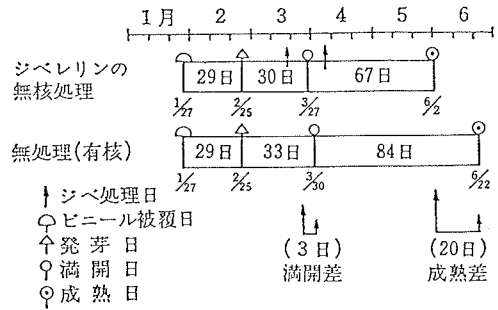
第3図 デラウェアの加温栽培での発芽促進剤石灰窒素使用の生育周期

第3図は、石灰チッソをデラウェアの1月27日被覆の早期加温栽培に使用(12月1日に20%上澄液を芽に塗布)した場合の生育期の促進効果を示している。すなわち、無処理に比べて発芽が12日促進し、発芽後は生長が遅れないように保温すると、そのまま並行して満開期が促進され、成熟期が12日促進する結果となる。

2) ジベレリンの利用

ジベレリンはブドウの品種のなかで、主としてデラウェアの無核果実を栽培するのに使用されているが、その副作用として果実が無核化したために成熟期が約20日促進される効果が得られる。

第4図は、デラウェアの1月27日被覆の加温栽培にジベレリンを処理した無核果実と無処理



第4図 デラウェアの加温ハウス栽培でのジベレリンによる無核果実の熟期促進

の有核果実の生育期を比較したものである。すなわち、ジベレリンを無核化の処理適期である満開の12日前と10日後の2回重複処理を行うと、満開期が3日促進し、満開から成熟までの果実の発育期間を17日短縮して、成熟期が有核果実に比べて20日促進される結果となる。

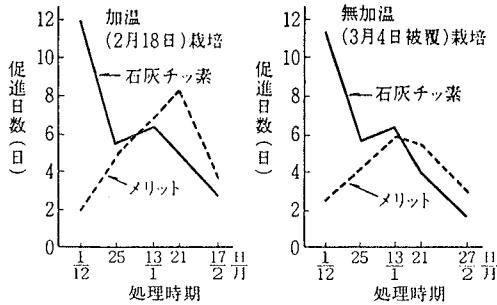
ハウス栽培では、この開花後の果実発育期間は温度調節によってほとんど効果が得られないが、これをホルモンの作用により発育期を短縮し、熟期を促進させることになり、ジベレリンの利用は最も合理的な熟期の促進法となっている。

以上、2薬剤についてもハウス栽培における熟期促進の効果をみたが、いずれもハウスによる熟期促進の効果を補完するかたちで使われており、その効果は大きく、省エネにも結びつき、十分な経済効果が得られている。今後もハウス栽培への新しい生育促進剤の開発が期待されているところである。

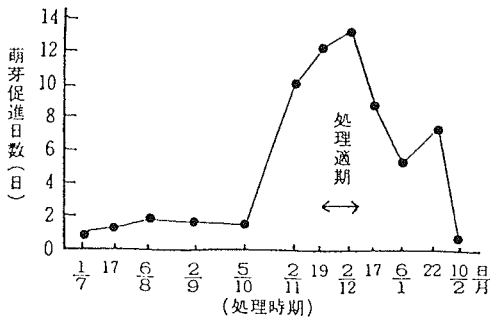
5. ハウス栽培での発芽促進剤の使用法

ブドウのハウス栽培に使用されている発芽促進剤には石灰チッソ、メリット青および硝安がある。

第5図は、デラウェアの加温栽培と無加温栽培について、石灰チッソとメリット青の処理時



第5図 石灰チッ素とメリットの処理適期の比較 (デラウェア)



第6図 石灰チッソの処理期と発芽促進効果

期と発芽促進効果の関係を比較したものである。効果の大きい処理時期は石灰チッソでは12月1日以前と推定され、メリット青は1月中旬頃となり、両薬剤の処理適期に大差が認められる。さらに石灰チッソの処理適期を詳しく調べたのが第6図であり、石灰チッソの処理適期は11月下旬から12月上旬頃となっている。

また、硝安の処理適期についてはメリット青と同じ1月中旬頃とされている。なお、これら薬剤の処理適期は、ハウス栽培の作型とはほとんど関係せず、作型によって変動させる必要のないことが明らかになっている。

つぎに、3薬剤の発芽促進効果については、第5図でみられるように、適期処理ではメリット青より石灰チッソの方が優れる。また、同一場所で1月中旬被覆(二重)の3作型で3薬剤の効果を比較した第1表では、作型による効果の差は多少あるが、3作型の平均値で効果を比

第1表 デラウェアの作型と発芽促進剤の発芽促進日数の比較

薬剤(処理日)	石灰チッソ (12月1日)	メリット青 (1月16日)	硝 安 (1月16日)
作 型			
早期被覆無加温	18 日	12 日	12 日
地中熱交換暖房	16	10	7
重 油 加 油	16	10	6
平 均	16.7	10.7	8.3

(注) 各作型とも同一場所において昭和57年1月中旬ビニール被覆(二重)栽培。

較すると、石灰チッソが17日、メリット青が11日、硝安が8日の促進効果となり、石灰チッソが最も優り、ついでメリット青、硝安の順に劣る。

この結果は1月中旬被覆の作型であるが、作型と効果との関係では被覆時期または加温開始時期が早い作型ほど効果が大きくなる特徴がある。ことに処理適期の早い石灰チッソではその傾向が強い。したがって、薬剤の使い分けとしては、早期の被覆作型には石灰チッソが有利であり、2月中旬以降の後期被覆作型になると3薬剤の効果が少差となるので、後期の被覆作型にはメリット青または硝安が適するように考えられる。

以上、3薬剤の処理適期と効果の特徴について述べたが、つぎに各薬剤の使用法について説明する。

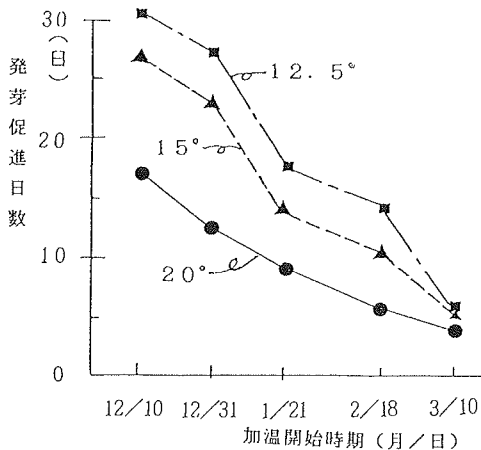
1) 石 灰 チ ッ ソ

石灰チッソの使用は12月～1月までの早期被覆の各作型に適し、処理時期は11月下旬～12月上旬が適期である。

処理方法は20%上澄液の結果母枝への塗布または散布である。処理の注意点としては、芽に薬液を十分に付着させて効果のムラをなくする

こと、また処理後は3日間ぐらい無降雨条件が必要であり、もし降雨にあうと効果が減退するため再処理が必要となる。

薬液の作成法は、粉末の石灰チッソ（肥料）を20%の割合で水に溶して最少30分間継続的に攪拌し、その後、約30分間放置して上澄液だけを採取し、展着剤を加用して使用する。



第7図 デラウェアに対する石灰チッソの発芽促進効果と温度および加温開始期

石灰チッソの発芽促進効果については、一部前述したが、デラウェアで加温開始時期および温度と効果との関係を恒温器で調査した結果は、第7図のとおり、いずれの温度でも加温開始期が早いほど促進効果が顕著に大きくなり、温度については低温ほど促進効果が大きくなる特異な特徴が明らかになった。

実際栽培においても、被覆期の早い作型ほど効果が大きく、12月上旬の超早期加温では20～25日、1月下旬の標準作型では15～17日、2月中旬の後期加温では10日前後、2月下旬被覆の無加温では5～7日の促進効果が一般に得られている。

なお、石灰チッソには発芽促進の効果以外に発芽をそろえる効果もある。しかし、この効果は後期の作型で現れるが、促進効果の大きい早

期の作型では逆に発芽が不ぞろいとなる欠点が発見し、栽培上の問題点となっている。

2) メリット青

メリット青は作物の葉面散布剤であり、ブドウの発芽促進に効果がある。

処理始期は、第5図に示したように、1月中旬頃が適期である。一般に、12～1月の早期被覆作型では石灰チッソより効果が劣るが、後期の被覆作型になると効果に大差がなくなり、石灰チッソに比べて使用しやすい利点がある。

処理液は、原液を2倍に薄めればよく、処理法は結果母枝への塗布、または小型スプレーによる散布がよい。なお、処理はハウスの未被覆状態または被覆後に行っても効果に差がない。処理後の降雨には石灰チッソと同様に注意が必要である。

発芽の促進効果については、やはり作型による差があり、早期の被覆作型ほど大きい傾向がある。1月中旬被覆の作型では10～12日、2月下旬被覆の無加温作型では5～7日の促進効果となる。

3) 硝安

肥料の硝安もブドウの発芽促進に効果があり、最近では、価格が安く、使用しやすいので普及してきている。

処理時期はメリットと同様に1月中旬頃が適期で、処理は動力噴霧機による結果母枝への散布が行われる。

処理液の濃度は10倍で展着剤を加用して使用されている。硝安には鉄を酸化させる作用があり、針金や鋼管の耐用年数を減少させる難点がある。

促進効果はメリット青に比べてやや劣る。

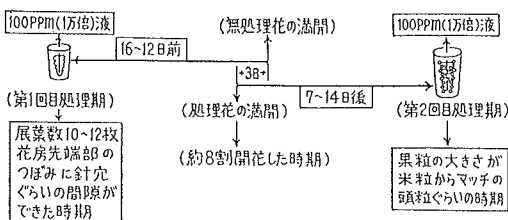
6. ハウス栽培でのジベレリンの利用

ジベレリンによるタネなし栽培が普及してす
てに20数年になるが、一万倍のうすい濃度を使
用するホルモン剤の利用であるため、ちょっと
した気象の変化やブドウ樹の栄養条件により、
また処理時期により甚しい減収や品質の低下を
まねく危険性が多分にあり、毎年注意を怠る
ことができず、高度な処理技術が必要とされる。

果実を無核にするジベレリン利用の対象品種
については、デラウェアでは全面的に使用され、
ベリーAはかなりの比率で、スチューベンや巨
峰では一部の産地で使用されている現状にある。

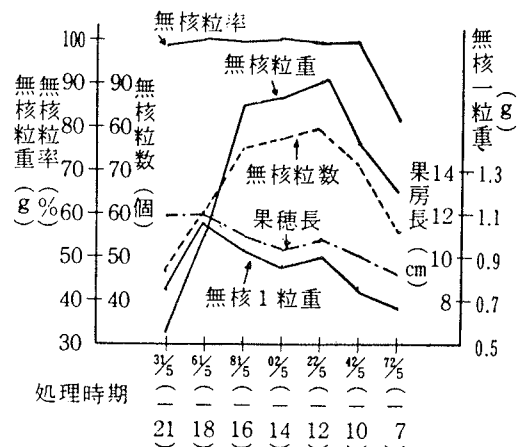
1) デラウェア

デラウェアのジベレリン処理方法は、第8図
に示すように、100 ppm液の開花前と開花後の
花(果)房への2回処理である。露地栽培の処
理適期は、1回目が無処理花の満開12~16日前、
2回目は処理花の満開7~14日後である。ジベ
レリン処理で最も重要な点は、果房品質が処理
によってほとんど決定される1回目の処理にお
ける適期の判定と気象条件である。すなわち、
処理が早過ぎると果房が長く、果粒が粗着の果
房となり、反対におそ過ぎると果房が短く、果
粒が密着して小さくなる(第9図)。また処理
後に降雨が遇ったり、異常に乾燥すると効果が
著しく減退して果房品質が低下する。



第8図 デラウェアのジベレリン処理の方法

しかし、ハウス栽培のジベレリン処理とな
ると、一般に露地に比べて新梢や花房の生長速度
が速いため1回目の処理適期の幅が短くなると



第9図 デラウェアに対するジベレリン第1回目
処理時期と果房の品質

ともに、発育が不揃いとなるため、露地のよう
に一斉に処理することが不可能で、新梢または
花房ごとに処理適期を判定して処理しなければ
ならず、平坦地でも10アールの処理に10~15日
の期間が必要である。またハウス内は日照不足
の多湿条件になりやすく、花房の発育が徒長的
で軟弱となるため、発育度からみて露地の場合
より処理時期を2~3日おそく処理する必要が
ある。

また、加温ハウスと無加温ハウスでは、夜間
の湿度条件が異なり、それに伴って花房の発育
様相も変化するため、一般に加温ハウスでは早
く、無加温ハウスではおそく処理時期の調節が
必要となる。

つぎに、開花後の2回目処理については、処
理の適期幅が広いため、発育差がかなりあつて
も2~3回に分けて処理すればよい。2回目処
理の注意点は、処理時の幼果が軟弱に発育して
いるため、処理後の余液を振洗い落とし、通風も
よくしてジベレリンによる果粒の傷の発生を防
止する必要がある。

以上、ハウス内での処理の特徴と注意点を述

べたが、露地栽培に比べて高度な処理技術が要求され、ことに花房発育の仕方や形態変化に関する観察力を養い、好適な適期判定ができるように体験的に勉強しなければならない。

2) マスカット・ベリー A

ベリー A のジベレリン処理方法もデラウェアと基本的には同じであるが、ベリー A では無核率が低く、果粒の密着した果房が得にくい問題がある。また花房が大きいため処理前に小さく整形する必要がある。果房の品質に関係の深い 1 回目の処理適期は露地栽培では満開 12~14 日前、ハウス栽培では 2 日おそい 10~12 日前とされている。

ベリー A のジベレリン処理の改善法として、無核果率の向上、花房の徒長防止や着粒の増加のため、ベンジルアデニン (B A) の添加が行われており、とくにハウス栽培での使用が多い。B A 剤のジベレリン 1 回目の処理への添加は、ジベレリン 100 ppm 液に対して 100 ~ 200 ppm の割合に加用し、処理時期は単用の場合より 2 ~ 3 日早く処理する必要がある。なお、2 回目の処理には B A 剤は使用しない方がよい。

7. 巨峰の花振るいに対する B-ナインの利用

B-ナインは生長抑制剤である。開花前の新梢に散布すると伸長を抑えるとともに、巨峰、ピオーネなどの着粒数の増加 (花振るい防止) に効果がある。また、花房だけに浸漬処理しても着粒の増加効果が得られる。

B-ナインの処理濃度は 0.3 ~ 0.5 % で展着剤を加用する。処理適期は新梢の展葉数で 6 ~ 7 枚の時期である。処理方法は噴霧器により全面散布で花房にもよくかける必要がある。花房だけの処理ではコップによる浸漬でよい。

処理効果については、第 2 表に示すとおり、顕著な着粒効果と新梢の抑制効果が認められるが、ハウス栽培では着粒効果が一般に 10~30 % で有核粒が増加する。なお、果粒がやや小さくなる傾向がある。

第 2 表 巨峰の B-ナインによる新梢生長抑制と実止りの効果
(岡山農試 山部, 1967)

区 別 (濃度)(展葉数)	収 穫 時 (9.6)				
	新梢長	節 数	果穂重	着粒数	1果粒重
% 枚	cm		g		g
1.0 7	77.5 (76)	16 (100)	561.3 (143)	63.0 (147)	8.7 (94)
1.0 5	49.5 (49)	14 (87)	345.8 (88)	38.3 (89)	8.8 (95)
無 処 理	101.5 (100)	16 (100)	393.1 (100)	43.0 (100)	9.3 (100)

処理上の注意点としては、B-ナインは銅を溶出し、葉害を発生させる性質があるので、銅製容器の使用や処理前後のボルドウ液の散布は避けるべきである。

8. デラウェアの着色障害防止に対す硫酸マンガン利用

ジベレリン処理によるデラウェアの無核果房には、果房先端部が着色不良になるスソモヨウ型障害や、1 房中に着色不良の果粒が混在するゴマシオ型障害が発生しやすい。この障害の発生には土壌の pH が密接に関係し、微量元素であるマンガンの欠乏が一つの発生要因となっている。

したがって、この防止対策には硫酸マンガンの枝葉および果房への全面散布が効果あり、また果房だけに浸漬処理しても効果がある。全面散布による防止法としては、処理時期が満開 15~25 日後が適期となり、処理濃度は 0.3~0.5 % がよく、処理方法は果房を主体に散布する。また、果房の浸漬による防止法としては、ジベレリンの 2 回目の処理液に 0.3 ~ 0.5 % の硫酸マ

ンガンを添加し、同時処理を行う。

なお、一般的な発生園では両処理法とも1回の処理で十分な効果が得られるが、重度な発生園では散布による追処理が必要である。

9. お わ り に

以上、ブドウのハウス栽培における生育調節剤の利用について簡単に述べてみたが、いずれの生育調節剤ともハウス栽培の目標である熟期

の促進、品質の向上および生産の安定のために効率的に利用され、経済効果も得られてブドウ栽培の発展に寄与している。

今後は、より効果の高い薬剤、また開花の促進剤や有核果実に対する着色促進剤などの開発が要望されており、一方、これらに関する新薬については現在研究中のものもあり、これからの研究成果が期待されている。

(以上)

昭和60年度冬作(麦類・いぐさ・水稻刈跡) 関係除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和60年度冬作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、昭和61年9月3日、薬業健保会館において開催した。

本年度供試された冬作関係除草剤は、作用性試験12剤、適用性試験30剤、生育調節剤は、作

用性試験1剤、適用性試験2剤であった。

このうち、適用性試験については、慎重に試験成績を検討し、実用化についての判定を行なった。

その結果は、次表の通りである。

昭和60年度 冬作関係除草剤・生育調節剤試験中央判定および使用基準

A. 小 麦

薬 剤 名	判 定	内 容					
		処 理 法	処 理 時 期	使用量/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
2. ANK-553 細粒 ・ペンディメタリ ン……………2%	実・継 前年通り	土 壌	播 種 後	500~600 g	壤土~埴土 〔但し、温 暖地西部 は砂壤土 ~埴土〕	寒冷地(畑 作)、温暖 地以西(水 田裏作)	1) 碎土・整地・覆土を 丁寧に行って均一散 布に留意する。
4. BAS-3510 (Na) 液 ・ペンタゾン(Na) ……………40%	実・継 暖地への 拡大	茎 葉	麦生育期、 雑草発生揃 期	10~20 ml	全 土 壌	寒冷地(畑 作)、温暖 地以西(水 田裏作)	1) 広葉雑草対象。 2) 体系処理: イネ科雑 草に有効な既登録除 草剤と組合せて使用 する。

薬 剤 名	判 定	内 容					
		処 理 法	処 理 時 期	使用量/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
5. <u>グリホサート液</u> ・グリホサート 41%	実・継	茎 葉	耕起前7～ 14日	50～100ml	全 土 壌	寒冷地（畑 作）	継：低薬量について。
6. <u>Hoe-866液</u> ・グルホシネート 18.5%	継	処理時期の検討。					
7. <u>HOK-833</u> <u>水和</u> ・MCC 40% ・DCMU 7%	実・継	土 壌	播 種 後	75～100g	火山灰土壌	寒冷地（畑 作）	継：薬害の発生要因に ついて。
8. <u>HW-624</u> <u>水和</u> ・未公開 70%	継	初年目、成分未公開。					
9. <u>MK-140N</u> <u>水和</u> ・アクロニフェン 30% ・ニトラリン 45%	継	効果、薬害の再検討。					
10. <u>NY-712</u> <u>水和</u> ・ピリデート 45%	継	効果、薬害の再検討（非イネ科雑草に効果高く有望）。					
12. <u>トリフルラリン</u> <u>乳</u> ・トリフルラリン 44.5%	実・継 （前年通 り）	土 壌	播 種 後	20～40ml	（全土壌）	（全 域）	〔寒地は継続〕
13. <u>HOK-15</u> ① <u>細粒</u> ・DBN 1% ・DCMU 0.5%	実・継 （前年通 り）	生育初期	小麦2～3L （スズメノテ ッポウ1.5 Lまで）	500～600g 400～500g	壤土～埴土	寒冷地（畑 作） 温暖地（水 田裏作）	1) 砕土、整地、覆土を 丁寧に行って均一散 布に留意する。 2) 冬期寒冷の年には 600g/aで薬害の危 険性があるので注意 する。
14. <u>UBH-508</u> <u>水和</u> ・未公開 20%	継	成分未公開					
15. <u>YF-65</u> <u>液</u> ・パラコート10% ・ジクワット14%	実・継	茎 葉	耕 起 前	30～50ml	全 土 壌	寒冷地、暖 地	1) 周辺作物への飛散に 注意する。

薬 剤 名	判 定	内 容					
		処 理 法	処理時期	使用量／a	適用土壌	適用地域	使用上の注意
16. アイオキシニル 乳 ・アイオキシニル 30%	実・継 〔処理時 期拡大 可能〕	茎 葉	広葉雑草発 生揃（越冬 前）	16～24m /	洪積火山灰 土	全域(畑作)	1) 広葉の農作物の茎葉 に散布液が飛散しな いように注意する.
			ヤエムグラ 2～4 L		全 土 壌	暖 地	
			幼穂形成期 (<u>広葉雑草</u> 発生始)	10～20m /	全 土 壌	寒地(畑作)	
17. Dowco 433 乳 ・フルロキシビル 30%	継	効果, 薬害の再検討.					
18. KUH-813 乳 ・オルソベンカー ブ 50% ・リニュロン 7.5%	実・継 〔土壌拡 大可能〕	土 壌	播 種 後	60～80m /	全 土 壌 〔寒冷地南 部, 温暖 地東部は 砂壤土を 除く〕	寒冷地(畑 作), 寒冷 地南部以西 (水田裏作)	1) 砕土, 整地, 覆土を ていねいに行って, 均一に散布する.
19. KUH-813 細粒 ・オルソベンカー ブ 8% ・リニュロン 1.2%	実・継 〔処理法 拡大可 能〕	土 壌	播 種 後	400～500 g	砂壤土～埴 土 〔寒冷地お よび温暖 地西部は 砂壤土を 除く〕	寒冷地(畑 作), 寒冷 地南部以西 (水田裏作)	1) 砕土, 整地, 覆土を ていねいに行って均 一に散布する.
		生育初期	スズメノテ ッポウ 2 L まで	500～600 g	砂壤土～埴 土 〔温暖地東 部は砂壤 土を除く〕	温暖地東部 暖地(水田 裏作)	
20. EL-107 水和 ・イソキサベン 50%	継	効果・薬害の検討, 特に後作物に対する影響.					

B. 大 麦 類

薬 剤 名	判 定	内 容					
		処 理 法	処理時期	使用量／a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
1. MK-140N 水和 ・アクロニフェン 30% ・ニトラリン 45%	継	効果・薬害の再検討。					

薬 剤 名	判 定	内 容					
		処 理 法	処理時期	使用量/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
2. YF-65 液 ・パラコート10% ・ジクワット14%	実・継	茎 葉	耕 起 前	30～50m/	全 土 壌	寒 冷 地	1) 対象：六条大麦。
3. KUH-813 乳 ・オルソベンカー ブ 50% ・リニュロン 7.5%	継	効果・薬害の再検討。					
4. KUH-813 細粒 ・オルソベンカー ブ 8% ・リニュロン8 1.2%	継	効果・薬害の再検討。					
5. EL-107 水和 ・イソキサベン 50%	継	効果・薬害の再検討，特に後作物に対する影響。					
6. ANK-553 細粒 ・ペンディメタリ ン 2%	実・継	土 壌	播 種 後	500～600 g	壤土～埴土 〔但し，温 暖地以西 は砂壤土 ～埴土〕	寒冷地（畑 作），温暖 地以西（水 田裏作）	1) 砕土，整地，覆土は 丁寧に行って均一散 布に注意する。 2) 対象：二条・六条大 麦・裸麦。
7. DBN 粒 ・DBN 1%	実・継 （前年通 り）	生育初期	麦 2～3 L スズメノテ ッポウ 1.5 Lまで	400～500 g 500～600 g	壤土～埴土	寒冷地南部 （水田裏作） 温暖地以西 （水田裏作） 〔但し，温 暖地西部 は裸麦の み〕	1) 砕土，整地，覆土は 丁寧に行って均一散 布に注意する。 2) 対象：二条・六条大 麦・裸麦。
8. UBH-508 水和 ・未公開 20%	継	成分未公開					

C. い め さ

薬 剤 名	判 定	内 容					
		処 理 法	処理時期	使用量/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
1. MY-93E 乳 ・MY-93 7% ・MY-71 6%	継	効果の再確認。					

薬 剤 名	判 定	内 容					
		処 理 法	処理時期	使用量／a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
2. MC-79 粒 ・ビフェノックス 7%	実・継	湛水土壌	4月上旬～ 中旬（雑草 発生始まで）	300～500g 〔但し、温 暖地西部 は400～ 500g〕	壤土～埴土	温暖地西部 以西	1) 冬雑草を有効除草剤 で防除した後に使用 する。
3. NP-55 乳 ・セトキンジム 20%	実・継	茎葉（落 水）	イグサ先刈 り後（5月 中旬頃）	15～20m/l	全 土 壤	温暖地西部	1) 冬雑草を有効除草剤 で防除した後に使用 する。
			イグサ先刈 り後～ノビ エの5Lま で	15～20m/l		暖 地	2) イネ科一年生雑草対 象。
4. SL-236 乳 ・フルアジホップ 35%	実・継	茎葉（落 水）	イグサ先刈 り後（5月 中旬頃）	10～20m/l	全 土 壤	温暖地西部	1) 冬雑草を有効除草剤 で防除した後に使用 する。
			イグサ先刈 り後～ノビ エ5Lまで	10～20m/l		暖 地	2) イネ科一年生雑草対 象。
5. SL-236㊟乳 ・フルアジホップ －P－ブチル 17.5%	実・継	茎葉（落 水）	イグサ先刈 り後（5月 中旬頃）	10～20m/l	全 土 壤	温暖地西部 以西	1) 冬雑草を有効除草剤 で防除した後に使用 する。 2) イネ科一年生雑草対 象。

D. 水 稻 刈 跡

薬 剤 名	判 定	内 容					
		処 理 法	処理時期	使用量／a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
1. SC-224 液 ・スルホセート 40%	継						
2. NHS-50 粒 ・塩素酸ナトリウ ム 50%	継						

E. 生育調節剤

薬 剤 名	判 定	内 容					
		処 理 法	処理時期	使用量／a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
1. CCC 液 ・クロルメコート 46%	実・継 （寒冷地 以西への 拡大可能）	茎 葉	出穂前10～ 20日	50m/l	全 土 壤	寒 地	秋播小麦の倒伏軽減効 果。
			6L期前後 （草丈30～	20m/l			春播小麦の倒伏軽減効 果

薬 剤 名	判 定	内 容					
		処 理 法	処理時期	使用量/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
1. CCC 液 (つづき)			40 cm)			寒冷地以西	小麦の倒伏軽減効果。
			出穂前20～40日				
3. エテホン 液 ・エテホン 10%	実・継	茎 葉	出穂始期	200～300 ^{ppm} 5～10 l 〔但し、寒 地、温暖 地東部は 10l/a〕	全 土 壌	寒地、温暖 地以西	小麦対象、倒伏軽減効果。
	実・継	茎 葉	出穂始期	200～300 ^{ppm} 5～10 l/a 〔但し、温 暖地東部 は10l/a〕	全 土 壌	温暖地東部、 暖地	二条大麦対象、倒伏軽減効果。

昭和61年度春夏作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和61年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、昭和61年12月16～17日、薬業健保会館（東京都千代田区永田町2－17－2）において開催された。

この検討会には、試験場関係者95名、委託関係者等72名、計167名が参集し、29作物に対す

る除草剤89試験342点、13作物に対する生育調節剤28試験80点、前回未検討除草剤10試験21点、生育調節剤10試験15点について、試験成績の報告後、慎重な検討が行なわれた。

その判定結果については、次表に示すとおりである。

昭和61年度 春夏作野菜・花き関係委託試験薬剤および判定表

A. 除 草 剤

作物名 (品 種)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率(%)	試験の種類 新 規 の 別	試験実施場所(数) ()=中間or試験中	試験設計〔作型、対象雑草〕 処理時期; 散布薬量<水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結果	内 容
1. 野菜一般	(1) EL-107	イソキサベン	作用性 新 規	植調研.	* 詳細一任.	継	・効果・薬害について

作物名 (品 種)	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の 種 類 新 規 の 種 別	試験実施 場所 (数) ()=中間 or 試験中	試験設計〔作型, 対象雑 草〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結 果	内 容
1. 野菜一般 (つづき)	(1) EL-107 水和 (つづき) 〔日本イーラ イリリー〕	……… 2		(1)			継続検討.
	(2) KH-232 乳 〔アグロカネ ショウ〕	未公開……45	作用性 新 規	野菜茶試 盛岡, 同 久留米. (2)	〔露地普通, 一年生雑草 全般〕 播種・定植前後, 雑草 発生前; 20, 30ml <10 l>; 全面土壌処 理.	継	・効果・薬害について 継続検討.
	(3) KH-233 乳 〔アグロカネ ショウ〕	未公開…… 3	作用性 新 規	植調研. (1)	〔露地普通, 一年生雑草 全般〕 ①定植前②定植後, ① 雑草発生前②始期; 20, 40, 80ml <10 l>; ① 全面土壌処理②うね間 株間土壌処理.	継	・薬害の検討.
	(4) SKH-301 乳 〔シェル化学〕	未公開……50	作用性 新 規	野菜茶試 盛岡, 同 久留米, 植調研. (3)	〔露地普通, 一年生雑草 全般〕 播種・定植後, 雑草発 生前～始期; 10, 15, 20 ml <10 l>; 全面土壌 処理. * 詳細一任.	継	・作物をしほって検討, 成分未公開.
	(5) YF-65 ①液 (プリグロッ クスL) 〔アイシーア イジャノパン〕	パラコート ……… 5 ジクワット ……… 7	適用性 新 規	植調研. (1)	〔露地普及, 一年生雑草 全般〕 ①播種・定植前②定植 活着後, 雑草生育期; 60, 80, 100ml <10 l>; ①全面茎葉処理 ②うね間株間茎葉処理. { YF-65 との比較 試験 }		
2. キャベツ	(1) ANK-553 細粒 (ゴーゴーサ ン) 〔ゴーゴーサ ン普及会〕	ベンディメタ リン………30	適用性 継 続	群馬, 兵 庫, 鹿児 島大隅. (3)	〔春～夏まき露地移植, 一年生雑草全般〕 定植前, 雑草発生前; 400, 500, 600 g; 全 面土壌処理.	実 ・ 継	実: 〔春～夏まき露地 移植, キク科・ツユ クサ科を除く一年生 雑草全般〕 定植前～後, 雑草発 生前, 400～500 g, 全面土壌処理. 継: 土壌条件と薬害, 薬量.
	(2) 同 上	同 上	適用性 新 規	植調長沼, 青森畑園, 群馬, 愛 知園研,	〔春～夏まき露地移植, 一年生雑草全般〕 定植後, 雑草発生前; 400, 500, 600 g; 全		

作物名 (品種)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の 種類 新 規 の 継 続	試験実施 場所 (数) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型, 対象雑 草〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結果	内 容
2. キャベツ (つづき)	(2) ANK-553 細粒 (つづき)			兵庫. (5)	面土壤処理.		
	(3) Hoe-171 ① (フローレ) 〔ヘキストジ ャパン, 三 共〕	フェノキサプ ロップーエチ ル……90 g/l	適用性 継 続	青森畑園, 長野中信, (三重), 兵庫, 鹿 児島大隅. (5)	〔春～夏まき露地移植, スズメノカタビラを除 く一年生イネ科雑草〕 定植後(広葉用慣行土 壌処理剤施用後), イ ネ科雑草3～5葉期; 7.5, 10, 15ml <10 l>; 全面茎葉処理.	実	実: 〔春～夏まき露地 移植, スズメノカタ ビラを除く一年生イ ネ科雑草〕 生育期, イネ科雑草 3～5葉期, 7.5～ 15ml <10 l>; 全 面茎葉処理(土壌処 理剤との体系も可).
	(4) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト……18.5	適用性 継 続	北海道道 南, 植調 長沼, 千 葉東総, 愛知園研, 兵庫, 鹿 児島大隅. (6)	〔春～夏まき露地移植, 一年生雑草全般〕 生育期, 雑草生育期; 20, 30, 50ml <10 l>; うね間株間茎葉処理.	実 ・ 継	実: 〔春～夏まき露地 移植, 一年生雑草全 般〕 ①定植前②生育期, 雑草生育初期～生育 期(草丈20cm以下) ; ①75ml ②30～50 ml <10 l>; ①全面 茎葉処理②うね間茎 葉処理. 継: 雑草の生育ステー ジと薬量.
	(5) MW-831 水溶 (ハービエー ス) 〔明治製薬〕	ビアラホス ……20	適用性 継 続	福島, 新 潟高冷地, 京都, 広 島, 福岡 園研. (5)	〔春～夏まき露地移植, 一年生雑草全般〕 定植前, 雑草生育期; 30, 40, 50 g <10 l>; 全面茎葉処理.	実 ・ 継	実: 〔春～夏まき露地 移植, 一年生雑草全 般〕 定植前, 雑草生育初 期, 30～50 g <10 l>; 全面茎葉処理. 継: 処理時期, 薬量 (30 g の効果安定性).
	(6) NC-302 ① フロアブル 〔日産化学工 業〕	キザホップエ チル……10	適用性 継 続	北海道中 央, 同道 南, 岩手 南部, 群 馬, 長野 中信, 京 都, 広島, 鹿児島大 隅. (8)	〔春～夏まき露地移植, スズメノカタビラを除 く一年生イネ科雑草〕 生育期(広葉用慣行土 壌処理剤施用後), イ ネ科雑草3～5葉期; 8, 10, 12ml <10 l>; 全面茎葉処理.	実	実: 〔春～夏まき露地 移植, スズメノカタ ビラを除く一年生イ ネ科雑草〕 生育期, イネ科雑草 3～5葉期, 8～12 ml <10 l>; 全面茎 葉処理(土壌処理剤 との体系も可).
	(7) YF-65① 液 ジクワット	パラコート ……5	適用性 新 規	岩手南部, 新潟, 兵 庫.	〔春～夏まき露地移植, 一年生雑草全般〕 生育期, 雑草生育期;	実	実: 〔春～夏まき露地 移植, 一年生雑草全 般〕

作物名 (品種)	薬剤名・剤型 (商品名) [委託者名]	有効成分および含有率(%)	試験の種類 新 継 続 の 別	試験実施 場所(効 ()=中間 or試験中	試験設計〔作型, 対象雑 草〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結 果	内 容
2. キャベツ (つづき)	(7) YF-65①液 (つづき) (プリグロックスL) [アイ・シー・アイ・ジャパン]	……………7		(3)	60, 80, 100m/ <10 l>; うね間株間茎葉処理.	実	生育期, 雑草生育期, 60~100m/ <10 l>, うね間茎葉処理.
3. ハクサイ	(1) ANK-553 乳 (ゴーゴースン) [ゴーゴースン普及会]	ペンディメタリン……………30	適用性 継 続	群馬高冷地, 愛知園研. (2)	〔春~夏まき露地移植, 一年生雑草全般〕 定植前, 雑草発生前; 30, 40, 80m/ <10 l>; 全面土壌処理.	実・継	実: 〔春~夏まき露地移植, キク科・ツユクサ科を除く一年生雑草全般〕 定植前, 雑草発生前, 20~30m/ <10 l>, 全面土壌処理(ただし砂土・砂壤土を除く). 継: 薬量, 薬害.
	(2) CG-119・P細粒 (コダール) [日本チバガイギー, 武田薬品工業]	メトラクロール……………2 プロメトリン……………1	適用性 継 続	岩手, 茨城, 新潟高冷地, (三重), 兵庫但馬. (5)	〔春~夏まき露地移植, 一年生雑草全般〕 ①定植前②定植後, 雑草発生前; 300, 400, 500 g; ①全面土壌処理②うね間株間土壌処理.	実・継	実: 〔春~夏まき露地移植, 一年生雑草全般〕 ①定植前②定植後, 雑草発生前, ① 400 g ② 400~500 g, ① 全面土壌処理②うね間土壌処理(ただし砂土・砂壤土を除く). 継: 薬量, 土壌処理条件と薬害.
	(3) Hoe-866 液 (バスタ) [バスタ協議会]	グルホシネート……………18.5	適用性 新 規	宮城, 群馬高冷地, (三重). (3)	〔春~夏まき露地移植, 一年生雑草全般〕 定植前, 雑草生育期; 20, 30, 50m/ <10 l>; 全面茎葉処理.	実・継	実: 〔春~夏まき露地移植, 一年生雑草全般〕 定植前, 雑草生育初期~生育期(草丈20 cm以下), 30~50m/ <10 l>, 全面茎葉処理. 継: 薬量, 効果.
	(4) MW-831 水溶 (ハービエース) [明治製菓]	ピアラホス……………20	適用性 継 続	宮城, 新潟, 兵庫, 鳥取. (4)	〔春~夏まき露地移植, 一年生雑草全般〕 定植前, 雑草生育期; 30, 40, 50 g <10 l>; 全面茎葉処理.	実	実: 〔春~夏まき露地移植, 一年生雑草全般〕 定植前, 雑草生育初期, 30~50 g <10 l>, 全面茎葉処理.
	(5) NC-302 ① フロアブル	キザロホップエチル……………10	適用性 継 続	植調長沼, 北海道道南, 宮城, 栃木, 長	〔春~夏まき露地移植, スズメノカタビラを除く一年生イネ科雑草〕 生育期(広葉用慣行土	実・継	実: 〔春~夏まき露地移植, スズメノカタビラを除く一年生イネ科雑草〕

作物名 (品種)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率(%)	試験の 種類 新 規 継 続	試験実施 場所(数) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型, 対象雑 草〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結果	内 容
3. ハクサイ (つづき)	(5) NC-302 ① フロアブル (つづき) 〔日産化学工 業〕			野中信, 愛知園研, 鳥取. (7)	壊処理剤施用後), イ ネ科雑草 3~5 葉期; 8, 10, 12m/ <10 l>; 全面茎葉処理.		生育期, イネ科雑草 3~5 葉期, 8~12 m/ <10 l>; 全面茎 葉処理(土壌処理剤 との体系も可). 継: 処理時期, 薬量.
	(6) NP-55 乳 (ナブ) 〔日本曹達〕	セトキシジム20	適用性 継 続	北海道中 央, 同道 南. (2)	〔春~夏まき露地移植・ 直播, スズメノカタビ ラを除く一年生イネ科 雑草〕 体系=生育期(広葉用 慣行土壌処理剤 施用後), イネ 科雑草 3~5 葉 期; 15, 20m/ <10 l>; 全 面茎葉処理. 単用=生育期, イネ科 雑草 3~5 葉期 ; 15, 20 m/ <10 l>; 全 面茎葉処理.	実	実: 〔春~夏まき露地 移植・直播, スズメ ノカタビラを除く一 年生イネ科雑草〕 体系=生育期(慣行 土壌処理剤施 用後), イネ 科雑草 3~5 葉期, 15m/ <10 l>; 全 面茎葉処理. 単用=生育期, イネ 科雑草 3~5 葉期, 15~20 m/ <10 l>, 全 面茎葉処理.
	(7) S-28U 粒 (クレマート U) 〔U-クレマ ート研究会〕	ブタミホス3	適用性 継 続	植調長沼, 北海道道 南, 茨城, 長野中信, 愛知園研, 兵庫但馬. (6)	〔春~夏まき露地移植, 一年生雑草全般〕 定植後, 雑草発生前; 400, 500, 600 g; 全 面土壌処理.	実 ・ 継	実: 〔春~夏まき露地 移植, 一年生雑草全 般〕 定植後, 雑草発生前, 400~600 g; 全面土 壌処理(ただし寒地 を除く). 継: 薬量, 効果, 薬害.
4. ハナヤサ イ	(1) YF-65 ①液 (ブリグロッ クスL) 〔アイシーア イジャパン〕	パラコート5 ジクワット7	適用性 新 規	千葉暖地, 長野, 福 岡園研. (3)	〔慣行露地移植, 一年生 雑草全般〕 ①定植前②生育期, 雑 草発生前期~生育期; 60, 80, 100m/ <10 l>; ①全面茎葉処理 ②うね間株間茎葉処理.	実	実: 〔春~夏まき露地 移植, 一年生雑草全 般〕 ①定植前②生育期, 雑草生育期, 60~ 100 m/ <10 l>, ① 全面茎葉処理②うね 間茎葉処理.
5. ホウレン ソウ	(1) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト.....18.5	適用性 新 規	埼玉, 京 都, 大分. (3)	〔春~夏まき露地直播, 一年生雑草全般〕 播種前, 雑草生育期; 20, 30, 50m/ <10 l>; 全面茎葉処理.	継	・試験年次不足.
6. レタス	(1) 同 上	同 上	適用性 新 規	岩手南部, 秋田, 長	〔春~夏まき露地移植, 一年生雑草全般〕	継	・試験年次不足.

作物名 (品 種)	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の 種 類 新 規 継 続	試験実施 場数 (数) ()=中間 or 試験中	試験設計〔作型, 対象雑 草〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結 果	内 容
6. レタス (つづき)	(1) Hoe-866 (液 つづき)			野南信. (3)	生育期, 雑草生育期 (草丈20 cm以下); 20, 30, 50ml <10/>; うね間茎葉処理.		
	(2) triflu- ralin 粒 (トレファノ サイド) 〔塩之義〕 〔塩野義〕	トリフルラリ ン……………2.5	適用性 新 規	岩手南部, 秋田, 長 野. (3)	〔トンネルマルチ等, キ ク科・アブラナ科を除 く一年生雑草〕 定植前マルチ前(植穴 掘り前), 雑草発生前; 300, 400, 500 g; 全 面土壌処理.	実 ・ 継	実: 〔春～夏まき露地 マルチ移植, キク科・ アブラナ科・カヤツ リ科を除く一年生雑 草〕 マルチ前, 雑草発生前, 300～500 g; 全 面土壌処理. 継: 薬量, 作型.
7. ネギ	(1) ANK-553 乳 (ゴーゴーサ ン) 〔ゴーゴーサ ン普及会〕	ペンディメタ リン……………30	適用性 継 続	京都, 鳥 取, 鹿児島 大隅, (3)	〔春～夏まき露地移植, キク科・ツユクサを除 く雑草全般〕 定植後, 雑草発生前; 20, 30, 40ml <10/>; 全面土壌処理.	実	実: 〔春～夏まき露地 移植, キク科・ツユ クサを除く一年生雑 草〕 定植後, 雑草発生前, 20～30ml <10/>; 全面土壌処理.
	(2) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト……………18.5	適用性 新 規	福島いわ き, 埼玉, 鳥取. (3)	〔春～夏まき露地移植, 一年生雑草全般〕 生育期, 雑草生育期 (草丈20 cm以下); 20, 30, 50ml <10/>; うね間茎葉処理.	継	・薬量, 効果, 薬害.
	(3) triflu- ralin 粒 (トレファノ サイド粒) 〔塩野義〕	トリフルラリ ン……………2.5	適用性 継 続	福島いわ き, 京都, 大分. (3)	〔春～夏まき露地移植, オヒシバ・メヒシバ・ エノコログサ・ノビエ・ シロザ・イヌビユ・ハ コベ・スベリヒユ等一 年生雑草〕 定植後, 雑草発生前; 400, 500 g; 全面土壌 処理.	実	実: 〔春まき露地移植, キク科・アブラナ科・ カヤツリグサ科を除 く一年生雑草〕 定植後, 雑草発生前, 400～500 g; 全面土 壌処理.
8. タマネギ	(1) CG-119・ P 水和 (コダール) 〔チバガイギ ー, 武田薬 品〕	メトラクロール ……………2 プロメトリン ……………1	適用性 継 続	北海道, 植調長沼. (2)	〔春まき露地移植, 一年 生雑草全般〕 ①定植活着後②中耕除 草後, 雑草発生前; 20, 30, 40 g <10/>; 全 面土壌処理.	実	実: 〔春まき露地移植, 一年生雑草全般〕 ①定植活着後②中耕 除草後, 雑草発生前, ① 20～30 g ② 20～ 40 g <10/>; 全面 土壌処理 継: 薬量, 効果, 薬害.

作物名 (品種)	薬剤名・剤型 (商品名) [委託者名]	有効成分および含有率 (%)	試験の種類 新 規 継 続	試験実施場所 (勸 ()=中間 or試験中	試験設計〔作型; 対象雑 草〕 処理時期; 散布薬量 <水量/畓>; 処理方法	今 回 判 定	
						結 果	内 容
8. タマネギ (つづき)	(2) Hoe-171 ①乳 (フローレ) 〔ヘキストジ ャパン, 三 共〕	フェノキサブ ロップ-エチ ル……90g/l	適用性 継 続	北海道, 植調長沼, 北海道北 見. (3)	〔春まき露地移植, スズ メノカタビラを除く一 年生イネ科雑草〕 定植後(広葉用慣行土 壌処理剤施用後), イ ネ科雑草 3~5 葉期; 7.5, 10, 15 ml/10a; <10a>; 全面茎葉処理.	実 ・ 継	実: 〔春まき露地移植, スズメノカタビラを 除く一年生イネ科雑 草〕 定植後, イネ科雑草 3~5 葉期, 7.5, ~ 15ml/10a, 全 面茎葉処理(土壌処 理剤との体系も可). 継: 葉害.
	(3) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト……18.2	適用性 新 規	北海道, 植調長沼. (2)	〔春まき露地移植, 一年 生雑草全般〕 定植前, 雑草生育(初) 期; 20, 30, 50 ml/10a; <10a>; 全面茎葉処 理.	継	・処理方法.
	(4) HOK-15 水和 (ホクパック) 〔北興化学〕	DBN……30 DCMU……10	適用性 新 規	北海道, 植調長沼. (2)	〔春まき露地移植, 一年 生雑草全般〕 定植後, 雑草発生前~ 始期; 40, 50, 60 g/10a; <10a>; 全面土壌処 理.	継	・試験年次不足, 効果, 葉害.
	(5) HOK-833 細粒 〔北興化学〕	DCMU……8 MCC……1.5	適用性 継 続	北海道, 北海道北 見. (2)	〔春まき露地移植, 一年 生雑草全般〕 定植後, 雑草発生前~ 始期; 400, 500, 600 g; 全面土壌処理.	継	・効果不十分(処理時 期, 薬量).
	(6) HSW-861 水和 〔北海三共〕	シアナジン…5 PAC……20	適用性 新 規	北海道中 央, 同北 見. (2)	〔春まき露地移植, 一年 生広葉雑草〕 定植後, 雑草発生前~ 始期; 40, 50, 60 g; 全面土壌処理.	継	・試験年次不足, 薬量, 効果, 葉害.
	(7) HW-920 微粒 (ダイロン) 〔保土谷化学〕	DCMU……3	適用性 継 続	北海道中 央, 同北 見. (2)	〔春まき露地移植, 一年 生雑草全般〕 定植後~生育期, 雑草 発生始期~生育初期 (草丈10cm以下); 500, 750 g; 茎葉兼土 壌処理(全面処理).	継	・処理時期, 薬量, 効 果の安定性.
	(8) NC-302 ① フロアブル	キザロホップ エチル……10	適用性 継 続	北海道中 央, 同北 見. (2)	〔春まき露地移植, スズ メノカタビラを除く一 年生イネ科雑草〕 生育期(広葉用慣行土 壌処理剤施用後), イ	実	実: 〔春まき露地移植, スズメノカタビラを 除く一年生イネ科雑 草〕 生育期, イネ科雑草

作物名 (品 種)	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の場 所 新 規 の 継 続	試験実施 場所 (数) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型; 対象雑 草〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結 果	内 容
8. タマネギ (つづき)	(8) NC-302 ① (つづき) 〔日産化学〕				ネ科雑草 3～5 葉期; 8, 10, 12m/l<10l>; 全面茎葉処理.		3～5 葉期, 8～12 m/l<10l>, 全面 茎葉処理(土壌処理 剤との体系も可).
	(9) SL-236 ①乳 (ワンサイド) 〔石原産業〕	フルアジホッ プ……………35	適用性 新 規	北海道中 央, 道北 見.	〔春まき露地移植, スズ メノカタビラを除く一 年生イネ科雑草〕 生育期(広葉用慣行土 壌処理剤施用後), イ ネ科雑草 3～5 葉期; 5, 7.5, 10m/l<10l>; 全面茎葉処理.	継	・試験年次不足, 効果, 薬害.
9. ニンニク	(1) ANK-553 乳 (ゴーゴーサ ン) 〔ゴーゴーサ ン普及会〕	ペンディメタ リン……………30	適用性 継 続	(北海道 中央). (1)	〔露地普通, キク科・ツ ユクサを除く一年生雑 草〕 ①植え付け直後②春季 生育期, 雑草発生前; 30, 40, 50m/l<10l>; 全面土壌処理.	保留	・試験成績提出後判定.
10. アスパラ ガス	(1) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト……………18.5	適用性 新 規	北海道, 北海道道 南, 岩手 高冷地, 長野, 香 川三木. (5)	〔グリーン露地普通(養 成園も含む), 雑草全 般〕 ①萌芽期②生育期, 雑 草生育(初)期; 30, 50, 75m/l<10l>; ①全面茎葉処理②うね 間茎葉処理.	継	・試験年次不足(処理 方法).
	NC-302 ① フロアブル 〔日産化学〕	キザロホッ プ……………10	適用性 新 規	植調長沼, 北海道道 南, 岩手 高冷地, 長野南信, 広島. (5)	〔グリーン露地普通(養 成園も含む), スズメ ノカタビラを除く一年 生イネ科雑草〕 生育期(萌芽前広葉用 慣行土壌処理剤施用後), イネ科雑草 3～5 葉期; 8, 10, 12m/l<10l>; 全面茎葉処理.	継	・試験年次不足.
	(3) SL-236 乳 (ワンサイド)	フルアジホッ プ……………35	適用性 継 続	植調長沼, 北海道道 南, 岩手 高冷地, 山形, 長 野南信, 香川三木. (6)	〔グリーン露地普通(養 成園も含む), スズメ ノカタビラを除く一年 生イネ科雑草〕 生育期(萌芽前広葉用 慣行土壌処理剤施用後), イネ科雑草 3～5 葉期; 5, 7.5, 10m/l<10 l>; 全面茎葉処理.	実 ・ 継	実: 〔グリーン露地普 通(養成園も含む), スズメノカタビラを 除く一年生イネ科雑 草〕 生育期, イネ科雑草 3～5 葉期, 5～10 m/l<10l>, 全面茎 葉処理(土壌処理剤

作物名 (品 種)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の種類 新 規 継 続	試験実施場所 (数) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型、対象雑 草〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結 果	内 容
10. アスパラ ガス (つづき)	(3) SL-236 乳 (つづき) 〔石原産業〕						との体系も可)。 継: 処理時期, 薬量, 効果。
	(4) XRD-233 液 (ダービー) 〔XRD-233 研究会〕	トリクロピル ……………30	適用性 新 規	北海道道 南, 岩手 高冷地, 長野。 (3)	〔(慣行), スギナ(お よび広葉雑草)〕 スギナ生育期; 40, 60 ml <10l>; (スポッ ト) 茎葉処理。	実 ・ 継	実: 〔グリーン露地普 通(養成圃も含む)〕, スギナ〕 収穫後生育前, スギ ナ生育期; 40~60 ml <10l>; うね 間茎葉処理。 継: 処理時期, 薬量・ 効果。
11. トマト	(1) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト……………18.5	適用性 新 規	青森, 栃 木, 長野 中信, 広 島, 熊本 園芸。 (5)	〔露地移植, 一年生雑草 全般〕 生育期, 雑草生育期 (草丈20cm以下); 20, 30, 50ml <10 l>; うね間茎葉処理。	実 ・ 継	実: 〔露地移植, 一年 生雑草全般〕 生育期, 雑草生育初 期~生育期(草丈20 cm以下), 30~50 ml <10l>, うね間 茎葉処理。 継: 薬量, 効果。
	(2) MW-831 水溶 (ハービエー ス) 〔明治製菓〕	ピアラホス ……………20	適用性 継 続	青森, 秋 田, 長野 中信, 京 都。 (4)	〔露地移植, 一年生雑草 全般〕 ①定植前②生育期, 雑 草生育(初)期; 30, 40, 50g <10l>; ① 全面茎葉処理②うね間 茎葉処理。	実	実: 〔露地移植, 一年 生雑草全般〕 ①定植前②生育期, 雑草生育初期(1~ 2回), 30~50 g <10l>, ①全面茎 葉処理②うね間茎葉 処理。
	(3) SL-236 ①乳 〔石原産業〕	フルアジホッ プーPーブチ ル……………17.5	適用性 継 続	秋田, 長 野, 京都, 広島, 熊 本園芸。 (5)	〔露地移植, スズメノカ タビラを除く一年生イ ネ科雑草〕 生育期(広葉用慣行土 壌処理剤施用後), イ ネ科雑草3~5葉期; 5, 7.5, 10ml <10l>; 全面茎葉処理。	実	実: 〔露地移植, スズ メノカタビラを除く 一年生イネ科雑草〕 生育期, イネ科雑草 3~5葉期, 5~10 ml <10l>, 全面茎 葉処理(土壌処理剤 との体系も可)。
12. ナス	(1) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト……………18.5	適用性 新 規	山形, 東 京, 新潟。 (3)	〔露地移植, 一年生雑草 全般〕 生育期, 雑草生育期 (草丈20cm以下); 2 20, 30, 50ml <10l>; うね間茎葉処理。	実 ・ 継	実: 〔露地移植, 一年 生雑草全般〕 生育期, 雑草生育初 期~生育期(草丈20 cm以下), 30~50 ml <10l>, うね間 茎葉処理。 継: 薬量, 効果

作物名 (品 種)	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の 種 類 新 規 の 継 続	試験実施 場所 (数) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型, 対象雑 草〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結 果	内 容
13. ピーマン	(1) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト……………18.5	適用性 新 規	岩手, 千 葉野菜研. (2)	〔春～夏まき露地移植, 一年生雑草全般〕 生育期, 雑草生育期 (草丈20cm以下); 20, 30, 50ml<10l>; うね間茎葉処理.	実 ・ 継	実: 〔春～夏まき露地 移植, 一年生雑草全 般〕 生育期, 雑草生育初 期～生育期(草丈20 cm以下), 30～50 ml<10l>, うね間 茎葉処理. 継: 薬量, 効果.
14. キュウリ	(1) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト……………18.5	適用性 新 規	秋田, 福 島, 長野 南信, 福 井, 鹿児島. (5)	〔露地(マルチ)移植等, 一年生雑草全般〕 生育期, 雑草生育期 (草丈20cm以下); 20, 30, 50ml<10l>; うね間茎葉処理.	実 ・ 継	実: 〔露地マルチ移植, 一年生雑草全般〕 生育期, 雑草生育初 期～生育期(草丈20 cm以下), 30～50 ml<10l>, うね間 茎葉処理. 継: 薬量, 効果.
	(2) MW-831 水溶 (ハービエー ス) 〔明治製菓〕	ピアラホス ……………20	適用性 継 続	青森, 長 野南信, 岐阜南濃, 鹿児島. (4)	〔露地移植, 一年生雑草 全般〕 ①定植前②生育期, 雑 草生育(初)期; 30, 40, 50g<10l>; ① 全面茎葉処理②うね間 茎葉処理.	実 ・ 継	実: 〔露地(マルチ含 む)移植, 一年生雑 草全般〕 ①定植前②生育期, 雑草生育初期(1～ 2回), 30～50g <10l>, ①全面茎 葉処理②うね間茎葉 処理. 継: 薬量.
	(3) SL-236 ①乳 〔石原産業〕	フルアジホッ プーPーブチ ル……………17.5	適用性 継 続	宮城, 秋 田, 東京, 福井, 鹿 児島. (5)	〔露地マルチ移植等, ス ズメノカタビラを除く 一年生イネ科雑草〕 生育期(広葉用慣行土 壌処理剤施用後), イ ネ科雑草3～5葉期; 5, 7.5, 10ml<10l>; 全面茎葉処理.	実 ・ 継	実: 〔露地マルチ移植, スズメノカラビラを 除く一年生イネ科雑 草〕 生育期, イネ科雑草 3～5葉期, 5～10 ml<10l>, 全面茎 葉処理(土壌処理剤 との体系も可). 継: 効果確認.
	(4) triflu- ralin 粒 (トレフェノ サイド)	トリフルラリ ン……………2.5	適用性 新 規	秋田, 福 島, 神奈 川, 岐阜 南濃, 鹿 児島. (5)	〔露地移植, キク科・ア ブラナ科を除く一年生 雑草〕 定植前(植穴掘り前), 雑草発生前; 300, 400, 500g; 全面土壌処理.	継	・土壌条件と被害.
	(5) 同 上	同 上	適用性 新 規	秋田, 神 奈川, 岐	〔露地直播, キク科・ア ブラナ科を除く一年生		

作物名 (品種)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の種類 新 規 継 続	試験実施場所 (機関) ()=中間 or 試験中	試験設計〔作型, 対象雑草〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結果	内 容
14. キュウリ (つづき)	(5) trifluralin 粒 (つづき) 〔塩野義〕			阜南濃, 鹿児島, (4)	雑草〕 播種直後, 雑草発生前; 300, 400, 500 g; 全 面土壌処理.		
15. スイカ	(1) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト……………18.5	適用性 継 続	千葉東総, 愛知園研, 熊本園芸, (3)	〔露地マルチまたはトン ネルマルチ移植, 一年 生雑草全般〕 生育期, 雑草生育期 (草丈20cm以下); 20, 30, 50ml<10l>; うね間茎葉処理.	実 ・ 継	実: 〔露地マルチ, ト ンネルマルチ移植, 一年生雑草全般〕 生育期, 雑草生育初 期~生育期(草丈20 cm以下), 30~50 ml<10l>, うね間 茎葉処理. 継: 薬量, 効果.
	(2) NC-302 ① フロアブル 〔日産化学〕	キザロホップ エチル……………10	適用性 新 規	北海道中 央, 同道 南, 青森, 千葉東総, 鳥取, 香 川三木, (6)	〔露地マルチ移植, スズ メノカタビラを除く一 年生イネ科雑草〕 生育期(広葉用慣行土 壌処理剤施用後), イ ネ科雑草3~5葉期; 8, 10, 12ml<10l>; 全面茎葉処理.	継	・試験年次不足.
	(3) SL-236 乳 (ワンサイド) 〔石原産業〕	フルアジホッ プ……………35	適用性 継 続	植調長沼, 北海道道 南, 茨城, 千葉東総, 新潟, 香 川三木, (6)	〔露地マルチ移植, スズ メノカタビラを除く一 年生イネ科雑草〕 生育期(広葉用慣行土 壌処理剤施用後), イ ネ科雑草3~5葉期; 5, 7.5, 10ml<10 l>; 全面茎葉処理.	実 ・ 継	実: 〔露地マルチ, ト ンネルマルチ移植, スズメノカタビラを 除く一年生イネ科雑 草〕 生育期, イネ科雑草 3~5葉期, 5~10 ml<10l>, 全面茎 葉処理(土壌処理剤 との体系も可). 継: 処理時期, 薬量
16. メロン	(1) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト……………18.5	適用性 新 規	秋田, 山 形砂丘, 愛知園研. (3)	〔露地移植, 一年生雑草 全般〕 生育期, 雑草生育期 (草丈20cm以下); 20, 30, 50ml<10l>; うね間茎葉処理.	継	・試験年次不足.
	(2) MB-9057 液 (アージラン)	アシュラム ……………37	適用性 継 続	北海道中 央, 同道 南, (2)	〔トンネルマルチ, アカ ザ科・カヤツリグサ科 を除く一年生雑草〕 定植前マルチ前, 雑草 発生前; 80, 100, 120 ml<10l>; 全面土壌 処理.	実	実: 〔トンネルマルチ 移植等, アカザ科・ カヤツリグサ科を除 く一年生雑草〕 定植前マルチ前, 雑 草発生前, 80~120 ml<10l>, 全面土

作物名 (品 種)	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の 種 類 新 規 の 継 続	試験実施 場所 (都 ()=中間 or試験中	試験設計〔作型, 対象雑 草〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 の 判 定	
						結 果	内 容
16. メロン (つづき)	(2) MB-9057 液 (つづき) 〔アージラン 普及会〕						壊処理.
17. カボチャ	(1) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト……………18.5	適用性 新 規	秋田, 長 野. (2)	〔露地移植, 一年生雑草 全般〕 生育期, 雑草生育期 (草丈20cm以下); 20, 30, 50ml<10l>; うね間茎葉処理.	継	・試験例数不足.
	(2) S-28 乳 (クレマート) 〔Uークレマ ート研究会〕	ブタミホス ……………50	適用性 継 続	北海道中 央, 同道 南, 青森, 岡山, 熊 本園芸. (5)	〔露地移植, 一年生雑草 全般〕 定植前, 雑草発生前; 30, 40, 50ml<10l>; 全面土壌処理.	継	・土壌条件, 薬害, 効 果安定性.
	(3) triflu- ralin 粒 (トレファノ サイド) 〔塩野義〕	トリフルラリ ン……………2.5	適用性 新 規	植調長沼, 北海道道 南, 茨城, 長野, 岡 山, (佐 賀白石). (6)	〔トンネルマルチ移植等, キク科・アブラナ科を 除く一年生雑草〕 ①定植前マルチ前(植 穴掘り前)②生育期, 雑草発生前; ① 200 ② 400, 500 g; 全面土壌 処理.	継	・処理方法の検討.
18. イチゴ	(1) Hoe-171 ①乳 (フローレ) 〔ヘキストジ ャパン, 三 共〕	フェノキサプ ロップーエチ ル……………90 g/l	適用性 継 続	岩手南部, 埼玉, 岐 阜, 奈良. (4)	〔親株床・慣行, スズメ ノカタビラを除く一年 生イネ科雑草〕 生育期(広葉用慣行土 壌処理剤施用後), イ ネ科雑草3~5葉期; 7.5, 10, 15ml<10 l>; 全面茎葉処理.	実	実: (露地親株床・露 地普通, スズメノカ タビラを除く一年生 イネ科雑草) 生育期, イネ科雑草 3~5葉期, 7.5~ 15ml(ただし寒地 は10~15ml)<10 l>, 全面茎葉処理 (土壌処理剤との体 系と可)
	(2) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト……………18.5	適用性 新 規	福井, 奈 良, 福岡 園研. (3)	〔親株床・慣行, 一年生 雑草全般〕 定植前, 雑草生育(初) 期; 20, 30, 50 ml <10 l>; 全面茎葉処 理.	継	・試験年次不足.
	(3) NC-302 ①フロアブル	キザロホップ エチル……………10	適用性 新 規	北海道中 央, 同道	〔親株床・慣行, スズメ ノカタビラを除く一年	継	・試験年次不足.

作物名 (品種)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の種類 新 規 継 続	試験実施場所 (〇) ()=中間 or試験中	試験設計 (作型, 対象雑草) 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結果	内 容
18. イチゴ (つづき)	(3) NC-302 ①フロアブル (つづき) 〔日産化学〕			南, 岩手 南部, 埼玉, 奈良, 福岡県試. (6)	生イネ科雑草〕 生育期 (広葉用慣行土 壌処理剤施用後), イ ネ科雑草 3~5 葉期; 8, 10, 12ml <10l>; 全面茎葉処理.		
19. サヤイン ゲン	(1) triflu- ralin 乳 (トレファノ サイド) 〔塩野義〕	トリフルラリ ン……………44.5	適用性 継 続	宮城, 岡 山, 鹿児島. (3)	〔露地普通, キク科・ア ブラナ科を除く一年生 雑草〕 播種 (覆土) 後, 雑草 発生前; 20, 25, 30 ml <10l>; 全面土壌 処理.	実 ・ 継	実: [春まき①露地マ ルチ直播②露地マル チ直播, キク科・ア ブラナ科・カヤツリ グサ科を除く一年生 雑草] ①播種前マルチ②播 種後, 雑草発生前; 20~30ml <10l>; 全面土壌処理, 継: 処理時期, 薬量, ①での薬害.
	(2) triflu- ralin 粒 (トレファノ サイド) 〔塩野義〕	トリフルラリ ン……………2.5	適用性 継 続	宮城, 岡 山, 鹿児島. (3)	〔露地普通, キク科・ア ブラナ科を除く一年生 雑草〕 播種 (覆土) 後, 雑草 発生前; 400, 500, 600 g; 全面土壌処理.	実 ・ 継	実: [春まき①露地マ ルチ直播②露地直播, キク科・アブラナ科・ カヤツリグサ科を除 く一年生雑草] ①播種前マルチ前② 播種後, 雑草発生前, ① 500~600 g ② 400 ~500 g <10l>; 全 面土壌処理. 継: 処理時期, 薬量, ①での薬害.
20. ダイコン	(1) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト……………18.5	適用性 新 規	青森畑園, 長野南信, 宮崎. (3)	〔春~夏まき露地直播, 一年生雑草全般〕 播種前, 雑草生育 (初) 期; 20, 30, 50 ml <10l>; 全面茎葉処 理.	実 ・ 継	実: [春~夏まき露地 直播, 一年生雑草全 般] 播種前, 雑草生育初 期~生育期 (草丈 20 cm 以下), 30~50 ml <10l>; 全面茎 葉処理. 継: 薬量, 効果.
	(2) SL-236 ①乳	フルアジホッ プ-P-ブチ ル……………17.5	適用性 新 規	青森畑園, 千葉東総, 新潟高冷 地, 兵庫 但馬, 宮 崎. (5)	〔春~夏まき露地直播, スズメノカタビラを除 く一年生イネ科雑草〕 出芽後~生育期 (広葉 用慣行土壌処理剤施用 後), イネ科雑草 3~ 5 葉期; 5, 7.5, 10	継	・試験年次不足, 薬量, 効果.

作物名 (品 種)	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の 種 類 新 規 の 継 続	試験実施 場所 (箇)=中間 or試験中	試験設計〔作型, 対象雑 草〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結 果	内 容
20. ダイコン (つづき)	(2) SL-236 ①乳 (つづき) 〔石原産業〕				m/l <10 l>; 全面茎 葉処理.		
21. カ ブ	(1) YF-65 ①液 (プリグロッ クスL) 〔アイシーア イジャパン〕	パラコート ……………5 ジクワット ……………7	適用性 新 規	千葉野菜 研, 新潟, 兵庫但馬. (3)	〔露地普通, 一年生雑草 全般〕 ①播種前②生育期, ① 雑草生育(初)期②雑 草生育期; 60, 80, 100 m/l <10 l>; ①全面茎 葉処理②うね間茎葉処 理.	実 ・ 継	実: 〔露地普通, 一年 生雑草全般〕 ①播種前②生育期, ①雑草生育(初)期 ②雑草生育期, 60~ 100m/l <10 l>, ① 全面茎葉処理②うね 間茎葉処理. 継: 薬量, 効果.
22. ニンジン	(1) ANK-553 細粒 (ゴーゴーサ ン) 〔ゴーゴーサ ン普及会〕	ペンディメタ リン……………2	適用性 新 規	北海道, 植調長沼, 青森畑園, 埼玉鶴ヶ 島, 岐阜, 香川, 長 崎. (7)	〔春~夏まき露地直播, 一年生雑草全般〕 播種前, 雑草発生前; 400, 500, 600 g; 全 面土壌処理.	実 ・ 継	実: 〔春~夏まき露地 直播, 一年生雑草全 般〕 播種後, 雑草発生前, 400~600 g; 全面土 壌処理. 継: 薬害と土壌条件.
	(2) CG-119 乳 (デュアル) 〔チバガイギ ー, 武田薬 品〕	メトラクロ ール……………45	適用性 新 規	植調長沼, 北海道道 南. (2)	〔春~夏まき露地直播, 一年生雑草全般〕 播種後, 雑草発生前; 10, 20, 30m/l <10 l>; 全面土壌処理.	実 ・ 継	実: 〔春~夏まき露地 直播, 一年生雑草全 般〕 播種後, 雑草発生前, 10~20m/l <10 l>, 全面土壌処理. 継: 草種, 薬害.
	(3) CG-119・ P細粒 (コダール) 〔チバガイギ ー, 武田薬 品〕	メトラクロ ール……………2 プロメトリ ン……………1	適用性 継 続	北海道中 央, 北海 道道南. (2)	〔春~夏まき露地直播, 一年生雑草全般〕 播種後, 雑草発生前; 300, 400, 500 g; 全 面土壌処理	実 ・ 継	実: 〔春~夏まき露地 直播, 一年生雑草全 般〕 播種後, 雑草発生前, 300~500 g (ただし 寒地は 300~400 g), 全面土壌処理. 継: 草種, 薬害.
	(4) Hoe-171 ①乳 (フローレ) 〔ヘキストジ ャパン, 三 共〕	フェノキサ プロップ-エ チル……………90g/l	適用性 継 続	青森畑園, 千葉北総, 岐阜, 香 川, (熊 本園芸). (5)	〔春~夏まき露地直播, スズメノカタビラを除 く一年生イネ科雑草〕 生育期(広葉用慣行土 壌処理剤施用後), イ ネ科雑草 3~5 葉期; 7.5, 10, 15m/l <10 l>; 全面茎葉処理.	実	実: 〔春~夏まき露地 直播, スズメノカタ ビラを除く一年生イ ネ科雑草〕 生育期, イネ科雑草 3~5 葉期, 7.5~ 10m/l <10 l>, 全 面茎葉処理(土壌処 理剤との体系も可).

作物名 (品種)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率(%)	試験の種類 (新・続・規)	試験実施場所(数) ()=中間or試験中	試験設計〔作型, 対象雑草〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今回判定	
						結果	内容
22. ニンジン (つづき)	(5) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議会〕	グルホシネート……………18.5	適用性 新規	岩手高冷地, 千葉北総, 長崎. (3)	〔春～夏まき露地直播, 一年生雑草全般〕 播種前, 雑草生育(初期); 20, 30, 50 ml <10 l>; 全面茎葉処理.	継	・試験年次不足.
	(6) NC-302 ①フロアブル 〔日産化学〕	キザロホップ エチル……………10	適用性 継続	北海道, 北海道道南, 岩手高冷地, 埼玉鶴ヶ島, 新潟高冷地, 京都, 香川, 長崎. (8)	〔春～夏まき露地直播, スズメノカタビラを除く一年生イネ科雑草〕 生育期(広葉用慣行土壌処理剤施用後), イネ科雑草 3～5 葉期; 8, 10, 12 ml <10 l>; 全面茎葉処理.	実・継	実: 〔春～夏まき露地直播, スズメノカタビラを除く一年生イネ科雑草〕 生育期, イネ科雑草 3～5 葉期, 8～12 ml <10 l>; 全面茎葉処理(土壌処理剤との体系も可). 継: 薬量, 効果.
	(7) NP-55 乳 (ナブ) 〔日本曹達〕	セトキシジム ……………20	適用性 継続	北海道, 北海道道南. (2)	〔春～夏まき露地直播, スズメノカタビラを除く一年生イネ科雑草〕 体系=生育期(広葉用慣行土壌処理剤施用後), イネ科雑草 3～5 葉期; 15, 20 ml <10 l>; 全面茎葉処理. 単用=生育期, イネ科雑草 3～5 葉期 15, 20 ml <10 l>, 全面茎葉処理.	実	実: 〔春～夏まき露地直播, スズメノカタビラを除く一年生イネ科雑草〕 体系=生育期(慣行土壌処理剤施用後), イネ科雑草 3～5 葉期, 15 ml (ただし寒地は 15～20 ml) <10 l>, 全面茎葉処理. 単用=生育期, イネ科雑草 3～5 葉期, 15～20 ml <10 l>, 全面茎葉処理.
	(8) SL-236 ①乳 〔石原産業〕	フルアジホップ-P-ブチル……………17.5	適用性 新規	青森畑圃, 千葉北総, 京都, 鳥取, 鹿児島大隅. (5)	〔春～夏まき露地直播, スズメノカタビラを除く一年生イネ科雑草〕 生育期(広葉用慣行土壌処理剤施用後), イネ科雑草 3～5 葉期; 5, 7.5, 10 ml <10 l>; 全面茎葉処理.	実・継	実: 〔春～夏まき露地直播, スズメノカタビラを除く一年生雑草〕 生育期, イネ科雑草 3～5 葉期, 5～10 ml <10 l>; 全面茎葉処理(土壌処理剤との体系も可). 継: 効果, 薬害.
23. ゴボウ	(1) Hoe-866 液	グルホシネート……………18.5	適用性 新規	埼玉鶴ヶ島, 新潟,	〔露地直播・普通, 一年生雑草全般〕	実・継	実: 〔春～夏まき露地直播, 一年生雑草全

作物名 (品 種)	薬剤名・剤型 (商品名) [委託者名]	有効成分および含有率 (%)	試験の 種 類 新 続 の 別	試験実施 場所 (〇) ()=中間 or試験中	試験設計 [作型, 対象雑 草] 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結果	内 容
23. ゴボウ (つづき)	(1) Hoe-866 液 (バスタ) (つづき) [バスタ協議 会]			大分. (3)	播種前, 雑草生育(初) 期; 20, 30, 50ml <10l>; 全面茎葉処 理.		般] 播種前, 雑草生育期 (草丈20cm以下), 30~50ml <10l>; 全面茎葉処理. 継: 薬量, 効果.
	(2) NP-55 乳 (ナブ) [日本曹達]	セトキシジム20	適用性 継 続	植調長沼, 北海道道 南. (2)	[露地直播・普通, スズ メノカタビラを除く一 年生イネ科雑草] 体系=生育期(広葉用 慣行土壌処理剤 施用後), イネ 科雑草3~5葉 期; 15, 20ml <10l>; 全面 茎葉処理. 単用=生育期, イネ科 雑草3~5葉期; 15, 20ml <10 l>, 全面茎葉 処理.	実	実: [春~夏まき露地 直播, スズメノカタ ビラを除く一年生イ ネ科雑草] 体系=生育期(慣行 土壌処理剤施 用後), イネ 科雑草3~5 葉期, 15ml (ただし北海 道は15~20 ml)<10l>; 全面茎葉処理. 単用=生育期, イネ 科雑草3~5 葉期, 15~20 ml<10l>; 全面茎葉処理.
	(3) SL-236 乳 (ワンサイド) [石原産業]	フルアジホッ プ.....35	適用性 継 続	青森畑園, 千葉東総, 新潟, 鳥 取, 大分, 鹿児島大 隅. (6)	[露地直播・普通, スズ メノカタビラを除く一 年生イネ科雑草] 生育期(広葉用慣行土 壌処理剤施用後), イ ネ科雑草3~5葉期; 5, 7.5, 10ml <10 l>; 全面茎葉処理.	実 ・ 継	実: [春~夏まき露地 直播, スズメノカタ ビラを除く一年生イ ネ科雑草] 生育期, イネ科雑草 3~5葉期, 5~10 ml<10l>; 全面茎 葉処理. 継: 処理時期.
	(4) YF-65 ①液 (プリグロッ クス) [アイシーア イジャパン]	パラコート5 ジクワット7	適用性 新 規	青森畑園, 千葉北総, 大分. (3)	[露地直播・普通, 一年 生雑草全般] ①播種前②生育期; ① 雑草生育(初)期②雑草 生育期; 60, 80, 100 ml <10l>; ①全面茎 葉処理②うね間茎葉処 理	実 ・ 継	実: [春~夏まき露地 直播, 一年生雑草全 般] ①播種前②生育期, ①雑草生育初期②雑 草生育期, 60~100 ml <10l>; ①全 面茎葉処理. 継: 効果, 薬害.
24. サトイモ	(1) CG-119 乳 (デュアル)	メトラクロール45	適用性 新 規	山形, 栃 木, 千葉 北総, 三 重, 鹿児	[露地普通(マルチ含む), 一年生雑草全般] 植え付け後萌芽前(マ ルチ前), 雑草発生前,	継	・試験年次不足, 効果, 薬害.

作物名 (品 種)	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の 種 類 新 規 の 継 続	試験実施 場所 (場) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型, 対象雑 草〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結 果	内 容
24. サトイモ (つづき)	(1) CG-119 乳 (つづき) 〔チバガイギ ー, 武田薬 品〕			島大隅. (5)	20, 30, 40ml<10l>; 全面土壌処理.		
	(2) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト……………18.5	適用性 新 規	山形, 千 葉北総, 岐阜. (3)	〔露地普通, 一年生雑草 全般〕 生育期, 雑草生育期 (草丈 20cm 以下); 20, 30, 50ml<10l>; うね間茎葉処理	実 ・ 継	実: 〔春～夏まき露地 普通, 一年生雑草全 般〕 生育期, 雑草生育初 期～生育期(草丈 20 cm 以下), 30～50 ml<10l>, うね間 茎葉処理. 継: 薬量, 効果.
	(3) YF-65 ①液 (プリグロッ クスL) 〔アイシーア イジャパン〕	パラコート ……………5 ジクワット ……………7	適用性 新 規	千葉北総, 岐阜, 熊 本園芸. (3)	〔露地普通, 一年生雑草 全般〕 ①植え付け後萌芽前② 生育期, ①雑草生育(初 期)②雑草生育期; 60, 80, 100ml<10l>; ①全面茎葉処理②うね 間茎葉処理.	実 ・ 継	実: 〔春～夏まき露地 普通, 一年生雑草全 般〕 ①植え付け後萌芽前 ②生育期, 雑草生育 初期, 60～100 ml <10l>; ①全面茎 葉処理②うね間茎葉 処理. 継: 処理時期, 薬量.
25. ヤマノイ モ	(1) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト……………18.5	適用性 新 規	千葉畑作 研, 三重, 鳥取. (3)	〔露地普通, 一年生雑草 全般〕 生育期, 雑草生育期 (草丈 20cm 以下); 20, 30, 50ml<10l>; うね間茎葉処理.	実 ・ 継	実: 〔春～夏まき露地 普通, 一年生雑草全 般〕 生育期, 雑草生育期 (草丈 20cm 以下), 30～50ml<10l>,, うね間茎葉処理. 継: 薬量, 効果.
26. 花き・ 花木類	(1) Dowco- 453 乳 〔ダウケミカ ル〕	ハロキシホッ プ……………20	作用性 継 続	野菜茶試, 同久留米. (2)	〔露地普通, 薬害(一年 生イネ科雑草)〕 5月中旬+7月中旬; 75ml<10l>; ①土 壌処理②茎葉処理.		・薬害なし.
27. キ ク	(1) NP-55 乳 (ナブ)	セトキシジム ……………20	適用性 継 続	秋田, 三 重, (香 川), 福 岡園研. (3)	〔露地普通, スズメノカ タビラを除く一年生イ ネ科雑草〕 生育期(広葉用慣行土 壌処理剤施用後), イ ネ科雑草 3～5 葉期 15, 20ml<10l>;	実	実: 〔露地普通, スズ メノカタビラを除く 一年生イネ科雑草〕 生育期, イネ科雑草 3～5 葉期 15 ml <10l>, 全面茎葉 処理(土壌処理剤と

作物名 (品 種)	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の 種 類 新 規 の 継 続	試験実施 場所 (数) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型, 対象雑 草〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結 果	内 容
27. キ ク (つづき)	(1) NP-55 乳 (つづき) 〔日本曹達〕				全面茎葉処理.		の体系も可).
	(2) prodia- mine 水和 〔ベルシコ ール・パシフ ィック〕	プロジアミン ……………65	適用性 新 規	秋田, 長 野, 香川, 福岡園研. (4)	〔露地普通, 一年生雑草 全般〕 定植後等, 雑草発生前; 8, 16, 24 g, うね間 株間土壌処理.	実 ・ 継	実: 〔露地普通, 一年 生雑草全般〕 定植後等, 雑草発生前; 16~24 g, うね 間株間土壌処理. 継: 草種別効果確認.
28. 花木類	(1) SL-236 ①乳 〔石原産業〕	フルアジホッ プーP-ブチ ル……………17.5	適用性 新 規	埼玉, 東 京, 三重, 香川. (4)	〔露地普通, スズメノカ タビラを除く一年生イ ネ科雑草(多年生イネ 科雑草)〕 生育期, イネ科雑草生 育期(草丈20cm以下), 10, 15, 20 ml (チガ ヤ等多年生イネ科雑草 については 20, 30, 40 ml) <10 l>; うね間 株間茎葉処理.	継	・試験年次不足.
	(2) MK-616 水和 (ダイヤモンド) 〔三菱化成〕	クロルフタリ ム……………50	適用性 継 続	山形, 埼 玉, 神奈 川相模原, 福井, 三 重. (5)	〔露地普通, 一年生雑草 全般〕 生育期等, 雑草発生前 ~始期; 40, 50, 60g; うね間株間土壌処理.	実	実: 〔露地普通, 一年 生雑草全般〕 生育期等, 雑草発生前 ~始期, 40~60 g, うね間土壌処理.
	(3) MW-831 水溶 (ハービエー ス) 〔明治製菓〕	ビアラホス ……………20	適用性 継 続	山形, 埼 玉, 神奈 川相模原, 福井. (4)	〔露地普通, 一年生雑草 全般〕 ①春期②夏期生育期, 雑草生育期(草丈30cm 以下); 30, 40, 50 g <10~15 l>; うね 間株間茎葉処理.	実	実: 〔露地普通, 一年 生雑草全般〕 春~夏生育期, 雑草 生育初期(1~2回), 30~50 g <10~15 l>, うね間株間茎 葉処理.
	(4) MW-DC 水和 〔明治製菓〕	ビアラホス ……………12 DCMU…………18	適用性 継 続	山形, 神 奈川相模 原, 長野, 福井. (4)	〔露地普通, 一年生雑草 全般〕 ①春期②夏期生育期, 雑草生育期(草丈30cm 以下); 50, 75g <10 ~15 l>; うね間株間茎 葉処理.	実	実: 〔露地普通, 一年 生雑草全般〕 春~秋生育期, 雑草 生育初期(1~2回), 50~75 g <10~15 l>, うね間株間茎 葉兼土壌処理.
・展着剤 野菜一般	(1) OK-8603 乳	ポリオキシエ チレンドデシ ルエーテル	適用性 新 規	北海道中 央, 千葉 砂地, (和	〔野菜畑一般, 一年生雑 草全般〕 雑草生育期; ①カーメ		

作物名 (品種)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の種類 新 規 継 続 の 別	試験実施場所 (数) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型, 対象雑 草〕 処理時期; 散布量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結果	内 容
・展着剤 野菜一般 (つづき)	(1) OK-8603 乳 (つづき) 〔大塚化学〕	………30		歌山), 徳島. (4)	ックスD+OK-8603 …20g+0.1%, 20g+ 0.3%, 20g+0% (無 添加)②マイゼット+ OK-8603…60ml+ 0.1%, 60ml+0.3%, 60ml+0% (無添加); 全面茎葉処理.		

B. 前回 (S. 60 秋冬) 未提出または中間成績除草剤

作物名 (品種)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の種類 新 規 継 続 の 別	試験実施場所 (数) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型, 対象雑 草〕 処理時期; 散布量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結果	内 容
1. ネギ	(1) B-3015・ P粒 〔クミアイ化 学〕	ベンチオカー ブ………8.0 プロメトリン ………0.8	適用性 継 続	埼玉,(千 葉野菜研), 大分. (3)		実 ・ 継	・判定済み.
2. ニンニク	(1) ANK-553 乳 (ゴーゴーサ ン) 〔ゴーゴーサ ン普及会〕	ペンディメタ リン………30	適用性 継 続	北海道中 央, 青森, 岩手, 長 野. (4)	〔秋植え露地普通, キク 科・ツユクサを除く一 年生雑草〕 ①植付け直後②春期生 育期, 雑草発生前; 30, 50, 100ml <10 l>; 全面土壌処理.	実 ・ 継	実:〔秋植え露地普通, キク科・ツユクサを 除く一年生雑草〕 ①植付け直後②春期 生育期, 雑草発生前, 30~50ml <10 l>, 全面土壌処理. 継: 薬量, 抑草期間.
	(2) NP-55 乳 (ナブ) 〔日本曹達〕	セトキシジム ………20	適用性 継 続	北海道中 央, 岩手. (2)	〔露地普通, スズメノカ タビラを除く一年生イ ネ科雑草〕 体系=生育期(広薬用 慣行土壌処理剤 施用後), イネ 科雑草3~5葉 期; 15ml <10 l>; 全面茎葉 処理. 単用=生育期, イネ科 雑草3~5葉期; 15, 20ml <10 l>; 全面茎葉 処理.	実	実:〔露地普通, スズ メノカタビラを除く 一年生イネ科雑草〕 生育期, イネ科雑草 3~5葉期, 15~20 ml <10 l>, 全面茎 葉処理(土壌処理剤 との体系も可).
2. アスパラ ガス	(2) YF-65 液 (ブリグロッ クス)	パラコート ………10 ジクワット ………14	適用性 新 規	鹿児島縣 毛. (1)	〔露地慣行, 一年生雑草 全般〕 ①植付け(播種)前 (前作後耕起前等)② 定植後(生育期), 雑 草生育(初)期; 30,	実	実:〔露地慣行, 一年 生雑草全般〕 ①植付け(播種)前 (前作後耕起前等) ②定植後(生育期), 雑草生育初期, 30~

作物名 (品 種)	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の 種 類 新 規 の 継 別	試験実施 場所 (※) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型, 対象雑 草〕 処理時期; 散布薬量 ＜水量/a＞; 処理方法	今 回 判 定	
						結 果	内 容
2. アスパラ ガス	(2) YF-65 液 (つづき) 〔アイシーア イジャパン〕				40, 50ml <10l>; ①全面茎葉処理②うね 間茎葉処理.		50ml <10l>; ① 全面茎葉処理②うね 間茎葉処理.
3. ナ ス	(1) 同 上	同 上	適用性 新 規	青森, 宮 崎. (2)		実 ・ 継	・判定済み.
4. ヤマノイ モ	(1) 同 上	同 上	適用性 新 規	兵庫但馬, 鳥取. (2)		実 ・ 継	・判定済み.
5. ニンジン	(1) Hoe-866 液 (バスタ) 〔バスタ協議 会〕	グルホシネー ト……………18.5	適用性 新 規	埼玉鶴ヶ 島, 長崎. (2)		継	・判定済み.
	(2) MW-831 水溶 (ハービエー ス) 〔明治製菓〕	ビアラホス ……………20	適用性 継 続	埼玉鶴ヶ 島, 長崎. (2)		実 ・ 継	・判定済み.
	(3) YF-65 液 (プリグロッ クス) 〔アイシーア イジャパン〕	パラコート ……………10 ジクワット ……………14	適用性 新 規	青森. (1)		実 ・ 継	・判定済み.
6. キ ク	(1) prodia- mine水和 〔ベルシコー ルパシフィ ック〕	プロジアミン ……………65	作用性 新 規	香川, 福 岡岡研, 大分温泉 熱. (2)		継	・判定済み.

C. 生育調節剤

作物名 (品 種)	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の 種 類 新 規 の 継 別	試験実施 場所 (※) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型, ねらい〕 処理時期; 散布薬量 ＜水量/a＞; 処理方 法	今 回 判 定	
						結 果	内 容
1. 野菜一般	(1) AR-1 粉 〔トモエ化学〕	ビタミンK ₃ 亜硫酸水素ナ トリウム付加 物……………1	作用性 新 規	野菜茶試. (1)	〔一任, 生育促進, 健苗 育成等〕 * 詳細別途協議.	継	・適用性試験の実施.

作物名 (品種)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率(%)	試験の種類 新規 の 継続	試験実施場所(数) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型;ねらい〕 処理時期;散布薬量 <水量/a>;処理方法	今回判定	
						結果	内容
1. 野菜一般 (つづき)	(2) AU-29 液 (アミノアップ) 〔アミノアップ化学〕	サイトカニン … 500ppm	適用性 新規	北海道 南. (1)	〔慣行, 発根・活着促進, 健苗育成〕 本葉2~3葉期, 定植 1週間前; 300, 500 ml; 茎葉処理.	継	・試験例数不足.
	(3) MGC-140 液 〔三菱瓦斯化学〕	塩化コリン ……………30	作用性 新規	野菜茶試. (1)	〔一任, 品質改善〕 *詳細一任	継	・作用性(処理濃度・ 方法)について更に 検討.
	(4) MGC-140 水和 〔三菱瓦斯化学〕	塩化コリン ……………30	作用性 新規	植調研. (1)	〔慣行, 発芽・初期生育 促進〕 *詳細別途協議.	継	・作用性(処理濃度・ 方法)について更に 検討.
	(5) RIC-1 液 (ケルパック 66) 〔ロイヤルイン ダストリーズ〕	海藻ホモジネ ート	作用性 新規	野菜茶試. (1)	〔慣行, 発根促進, 葉緑 素分解阻止〕 ①発芽直後②移植直前 苗床③生育期; ①一任 ②100ml/③20ml; ① 浸漬②土壌灌注処理③ 茎葉処理.	継	・効果不明確.
	(6) S-327D 水和 〔住友化学〕	ウニコナゾ ール活性体…5	作用性 継続	野菜茶試, 同盛岡, 同久留米. (3)	〔慣行, 矮化, 耐寒性等 苗質向上, 花芽分化促 進〕 一任; 5, 10, 20ppm; 茎葉兼土壌処理. *詳細一任.	継	・作用性(処理濃度・ 方法)について更に 検討.
2. ネギ	(1) MGC-140 液 〔三菱瓦斯化学〕	塩化コリン ……………30	適用性 新規	新潟, 広 島. (2)	〔春まき慣行, 生育促進〕 草丈10cm時; 根深ネ ギ… 600, 300, 200, 150倍, 葉ネギ… 500 ~2,000ppm; 茎葉処 理.	継	・試験年次不足(処理 時期, 濃度, 持続期 間.).
3. タマネギ	(1) AU-29 液 (アミノアップ) 〔アミノアップ化学〕	サイトカニン … 500ppm	適用性 新規	北海道. (1)	〔春まき慣行, 初期生育 促進, 球肥大〕 ①播種時; 500ml/ 100l; 灌注②3葉期 (苗); 150倍液×3 時間; 苗浸漬③5葉期; 25ml; 茎葉処理④球 肥大期; 30ml; 茎葉 処理. *詳細別途協議.	継	・試験年次不足.

作物名 (品 種)	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の 種 類 新 規 の 継 続	試験実施 場所 (数) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型, ねらい〕 処理時期; 散布薬量 ＜水量/a＞; 処理方法	今 回 判 定	
						結 果	内 容
4. メロン (つづき) (コサック)	(4) KT-30S 液 (つづき)			(3)	ネット形成〕 開花①前日②当日; 200 ～500ppm; 果梗部塗 布〔含有量変更(0.4 %→0.1%)のための 再試験〕		進〕 開花前日～当日, 200 ～500ppm, 果梗部 塗布. 継: 濃度, 品質(ネッ ト形成)への影響.
	(5) 同 上	同 上	適用性 新 規	植調長沼. (1)	〔トンネルマルチ, 着果 促進〕 (1)開花前日; ① 500 ～ 1,000ppm ② 30 ～ 100ppm; ③果梗部 塗布④子房部散布.	実 ・ 継	実: 〔寒地トンネルマ ルチ, 着果促進〕 開花前日～当日, 50 ～100ppm, 子房部 散布. 継: 濃度, 品種, 果梗 部処理, 人工受粉の 有無について.
	(6) MGC-140 液 〔三菱瓦斯化 学〕	塩化コリン ………30	適用性 新 規	新潟. (1)	〔温室, ネット改善〕 高配①10日後②20日後; 1,500ppm(200倍); 茎葉処理.	継	・試験年次不足.
	(7) S-327D 水和 (うり類) 〔住友化学〕	ウニコナゾー ル活性体…5	適用性 新 規	青森砂丘, 茨城, 新 潟, 愛知 園研, 京 都. (5)	〔慣行, つるばけ防止, 着果促進等〕 一任; 5, 10, 20ppm; 茎葉兼土壌処理(全面 処理). *詳細一任.	継	・試験年次不足.
5. イチゴ	(1) 同 上	同 上	適用性 継 続	(山形砂 丘), (福 井), (奈 良), (兵 庫), (福 岡園研), (佐賀白 石). (6)	〔慣行, ランナー抑制, 着花促進, 品質向上, 増糖〕 一任; 5, 10, 20ppm; 茎葉兼土壌処理(全面 処理). *詳細一任	保留	・全試験成績提出後判 定.
6. ダイコン	(1) MGC-140 液 〔三菱瓦斯化 学〕	塩化コリン ………30	適用性 新 規	長野中信, 新潟, 石 川砂丘. (3)	〔夏まき, 空洞症発生防 止〕 播種①30日後②30日後 +40日後③30日後+40 日後+50日後; 1,500 ppm(200倍); 茎葉 処理.	継	・試験年次不足.
7. ヤマノイ モ	(1) 改良C-MH 液 (エルノー)	マレイン酸ヒ ドラジドコリ ン………39	適用性 継 続	(青森畑 園), (埼 玉), (千 葉畑作研),	〔普通(慣行), 貯蔵時 の萌芽抑制〕 枯葉①1週間前②2週 間前③3週間前; 100	保留	・全試験成績提出後判 定.

作物名 (品種)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率(%)	試験の種類 新 規 別	試験実施場所(数) ()=中間or試験中	試験設計〔作型, ねらい〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結果	内 容
7. ヤマノイモ (つづき)	(1) 改良C-MH液 (つづき) 〔日本ヒドラジン〕			(長野), (新潟), (兵庫但馬). (6)	ml (100倍) <10l>; 茎葉処理.		
8. 花き・花木類	(1) MCI-601液 〔三菱化成〕	ショ糖脂肪酸 エステル...40	作用性 新 規	野菜茶試. (1)	〔慣行, 摘芯〕 1,000~5,000ppm; *詳細一任.	継	・試験年次不足.
9. キク	(1) PP-333フロアブル (ボンザイ) 〔アイシーアイジャパン〕	パロクブトラ ゾール...2	適用性 新 規	秋田, 東京, 愛知 園研, (福岡園研). (4)	〔露地または施設(切花); 花首伸長防止〕 ①発蕾期②発蕾期+発 蕾10~15日後; 25, 50 ppm; 茎葉処理.	継	・試験年次不足.
	(2) 同 上	同 上	適用性 継 続	秋田, 東京, (神 奈川), 奈良. (3)	〔鉢植, 矮化による草姿 改良〕 摘芯; ①25, 50ppm <5~10ml/5号鉢> ②2.5, 5ppm<50~ 100ml/5号鉢>; ① 茎葉処理②土壌灌注処 理.	継	・結果不一致(用土, 鉢サイズ, 品種を揃 えて検討).
10. シャクナゲ	(1) 同 上	同 上	適用性 新 規	野菜茶試, 千葉花植 木研, 奈 良, 福岡 園研. (4)	〔鉢植, 節間伸長抑制, 着蕾増〕 摘芯2~3週間後; ① 200, 400ppm<5~10 ml/5号鉢> ②20, 40 ppm<50~100ml/5 号鉢>; ①茎葉処理② 土壌灌注処理.	継	・試験年次不足.
11. アペリア	(1) S-07液 (スミセブン) 〔住友化学・ 山本農薬〕	ユニコナゾー ル... 500ppm	適用性 継 続	野菜茶試, 同久留米, 千葉花植 木研, 神 奈川. (4)	〔露地慣行, 矮化による 刈込省力化〕 新梢伸長初期; 50ppm; 茎葉処理. *詳細別途協議.	継	・試験例数不足, 結果 不一致.
12. ボックス ウッド	(1) 同 上	同 上	適用性 継 続	野菜茶試, 同久留米, 東京, 和 歌山. (4)	〔露地慣行, 矮化による 刈込省力化〕 新梢伸長初期; 50ppm; 茎葉処理. *詳細別途協議.	継	・試験例数不足.
13. 緑化木	(1) PP-333 フロアブル	パクロブトラ ゾール...25	適用性 継 続	野菜茶試, 千葉花植 木研, 東	〔露地慣行, 矮化による 刈込省力化, 着蕾増〕 ①生育初期②生育期刈	実 ・ 継	・前回通り.

作物名 (品 種)	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の 種 類 新 規 継 続	試験実施 場所 (数) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型, ねらい〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結 果	内 容
13. 緑化木 (つづき) (低木)	(1) PP-333 (つづき) 〔アイシーアイジャパン〕			京, 神奈 川相模原. (4)	込 5~10日後; 1,000, 500, 250 倍; 茎葉処理.		
(中・高木)	(2) 同 上	同 上	適用性 継 続	千葉花植 木研, 東京, 神奈 川相模原, 愛知園研, 和歌山. (5)	〔露地慣行, 整枝・剪定 軽減〕 ①新梢伸長開始期②萌芽 (発芽)前; ①250 倍②製品5~20ml/樹; ①茎葉処理②土壌灌注 処理.	継	・樹種の整理, 処理方法 法の検討.

D. 前回 (S. 60 秋冬) 未提出または中間成績生育調節剤

作物名 (品 種)	薬剤名・剤型 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	試験の 種 類 新 規 継 続	試験実施 場所 (数) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型, ねらい〕 処理時期; 散布薬量 <水量/a>; 処理方法	今 回 判 定	
						結 果	内 容
1. 野菜一般	(1) KMS-1 液 〔丸善薬品〕	光合成細菌	作用性 新 規	野菜茶試. (1)		継	・判定済み.
2. ニンニク	(1) MGC-140 液 〔三菱瓦斯化学〕	塩化コリン ………30	適用性 新 規	青森, 長野. (2)		継	・判定済み.
3. ピーマン	(1) NS-80 水溶 (レンテミン) 〔野田食菌〕	ゼアチン等の サイトカイニン類 … 500 ppm	適用性 継 続	(千葉砂 地), 広島. (2)		継	・判定済み.
	(2) NSK-85 液 (バイトロン) 〔日本食品〕	液状複合肥料	作用性 新 規	広島. (1)		継	・判定済み.
	(3) TD-83 水溶 〔筒井商会〕	ビタミンB ₁₂ …… 3 µg/g	適用性 継 続	広島. (1)		継	・判定済み.
4. キュウリ	(1) NS-80 水溶 (レンテミン) 〔野田食菌〕	ゼアチン等の サイトカイニン類 … 500 ppm	適用性 継 続	福岡園研, (1)	〔促成または半促成, 苗 質の向上および初期収 量の増加〕 播種前+鉢上げ直後, 播種前+育苗中期, 播 種前+定植時; 100ppm +1,000ppm; 種子浸 漬+土壌灌注処理.	継	・処理時期, 処理回数 等.

作物名 (品種)	薬剤名・剤型 (商品名) 〔委託者名〕	有効成分および含有率(%)	試験の種類 新 規 の 続 別	試験実施場所(数) ()=中間 or試験中	試験設計〔作型, ねらい〕 処理時期: 散布薬量 ＜水量/a＞; 処理方法	今 回 判 定	
						結果	内 容
5. ヤマノイ モ	(1) 改良C-MH 液 (エルノー) 〔日本ヒドラ ジン〕	マレイン酸ヒ ドラジドコリ ン塩……………39	適用性 継 続	青森畑園. (1)		継	・判定済み.
6. チューリ ップ・ユ リ等球根 類	(1) MGC-140 液 〔三菱瓦斯化 学〕	塩化コリン ……………30	適用性 新 規	新潟, 富 山. (2)	〔秋植え慣行, 球根肥大 促進〕 球根肥大初期: 500ppm (600倍), 1,000ppm (300倍); 茎葉処理.	継	・試験年次不足.
7. ツツジ類	(1) S-07 液 (シミセブン) 〔住友化学・ 山本農薬〕	ウニコナゾー ル…500ppm	適用性 新 規	野菜茶試, 新潟, 福 岡園研. (3)	〔露地慣行, 矮化・着蕾 数増加〕 新梢伸長初期: 25, 50 ppm; 茎葉処理.	継	・試験年次不足(品種 を絞って検討).
8. ハクサイ・ タマネギ	(1) E-1 水和 (サカエ1号) 〔農作物栽培 工学研究会〕	糖質……………95	作用性 新 規	兵庫淡路. (1)		継	・判定済み.

昭和61年度畑作関係

除草剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和61年度畑作関係除草剤の試験成績中央検討した。
 討会を昭和61年12月10日, 植調会館会議室において開催した。このうち, 適用性試験については, 慎重に試験成績を検討し, 実用化についての判定を行なった。
 本年度供試された畑作関係除草剤は, 定性試験6剤, 作用性試験27剤, 適用性試験32剤であつた。その結果は, 次表の通りである。

昭和61年度 畑作除草剤試験中央判定および使用基準

適用性試験

薬 剤 名 〔委託者名〕	対象作物	判定	処 理 法	処理時期	使 用 量 製品／a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
1. ANK-553 細粒 ・ペンディメタ リン……2% 〔ゴーゴーサン普 及会〕	こんにゃく	継						継：効果の再検討。
2. CG-119乳 ・メトラクロ ール……45% 〔日本チバガイギー、 武田薬品〕	大 豆	実	土 壌	播 種 後	20~40m/	全 土 壌	寒地、寒 冷地。	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。
	とうもろこし	継						継：効果の再検討。
	ばれいしょ	継						継：効果・薬害の再 検討。
	こんにゃく	継						継：効果・薬害の再 検討。
3. CG-119乳 +アトラジン水 和(現地混用) ・メトラクロ ール……45% ・アトラジン ……47.5% 〔日本チバガイギー、 武田薬品〕	とうもろこし	実 ・ 継	土 壌	播 種 後	20~30m/ +15g	全 土 壌	寒 地	継：適用地域の拡大。
4. CG-119乳 +CAT水和 ・メトラクロ ール……45% ・CAT……50% 〔日本チバガイギー、 武田薬品〕	大 豆	継						継：効果・薬害の再 検討。
5. CG-119・P 水和 ・プロメトリン ……20% ・メトラクロ ール……30% 〔日本チバガイギー、 武田薬品〕	大 豆	実 ・ 継	土 壌	播 種 後	30 ~ 40 g	全 土 壌	寒冷地、 温暖地	継：適用土壌の拡大、 薬量の検討。
					20 ~ 30 g	火山灰土	暖 地	
	落 花 生	実 ・ 継	土 壌	播 種 後	30 ~ 40 g	全 土 壌	温 暖 地	継：薬量の検討。
					20 ~ 30 g	火山灰土	暖 地	

薬 剤 名 (委託者名)	対象作物	判定	処 理 法	処理時期	使 用 量 製品/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
6. CG-119・P 細粒 ・プロメトリン ……………1% ・メトラクロール ……………2% 〔日本チバガイギー、 武田薬品〕	大 豆	実・ 継	(寒冷地以西については従来通り)					継：効果・安定性の 確認。
	落 花 生	実	表 面 混 和	マルチフィ ルム被覆直 前	200~300g 400~500g	全 土 壌	寒冷地、 温暖地東 部	
7. CG-123 フロアブル ・メトラクロール ……………25% ・アトラジン ……………15% 〔日本チバガイギー、 武田薬品〕	とうもろこし	実・ 継	茎 葉	とうもろこ し2~4葉 期	20~40ml	全 土 壌	寒 地	継：効果の再確認。
8. Dowco-453 ①乳 ・ハロキシホッ プ……………10% 〔ダウケミカル日本〕	大 豆	実	茎 葉	イネ科雑草 3~5葉期	10 ml 7.5~10 ml	全 土 壌	寒 地 寒冷地、 温暖地、 暖地	・イネ科雑草優占圃 で使用する。 ・体系処理：広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る。
	小 豆	実	茎 葉	イネ科雑草 3~5葉期	10 ml 7.5~10 ml	全 土 壌	寒 地 寒 冷 地	
	菜 豆	実	茎 葉	イネ科雑草 3~5葉期	10 ml	全 土 壌	寒 地	
	て ん 菜	実	茎 葉	イネ科雑草 3~5葉期	10 ml	全 土 壌	寒 地	
9. EL-107 水和 ・イソキサベン ……………50% 〔日本イーライリリー〕	大 豆	継						継：効果・薬害の再 検討。
	とうもろこし	継						
10. Hoe-171 乳 ・フェノキサプ ロップエチル ……………9% 〔ダウケミカル日本〕	大 豆	実	茎 葉	イネ科雑草 3~5葉期	7.5~10 ml	全 土 壌	全 域	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。 ・体系処理：広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る。
	小 豆	実	茎 葉	イネ科雑草 3~5葉期	7.5~10 ml	全 土 壌	寒地、 <u>寒 冷地</u>	
	菜 豆	実	茎 葉	イネ科雑草 3~5葉期	7.5~10 ml	全 土 壌	寒地、 <u>寒 冷地</u>	
	かんしょ	実	茎 葉	イネ科雑草 3~5葉期	7.5~10 ml	全 土 壌	温暖地、 暖地	

薬 剤 名 〔委託者名〕	対象作物	判定	処 理 法	処理時期	使 用 量 製品／a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
10. Hoe-171 ①乳 (つづき) 〔ヘキストジャパン、三共〕	て ん 菜	実	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10m/	全 土 壤	寒 地	
11. Hoe-866 液 ・グルホシネー ト……18.5%	大 豆	実 ・ 継	茎 葉	播種10日前	30～50m/	全 土 壤	暖 地	継：効果の確認，処 理時期の検討，適 用地域の拡大。
〔バスタ協議会〕	かんしょ	継						継：処理時期，処理 方法の検討。
	ばれいしょ	継						継：薬量，効果，薬 害の再検討。
	こんにゃく	継						継：効果・薬害の再 検討。
12. HOK-833 細粒 ・DCMU ……1.5% ・MCC…8%	大 豆	継?						・薬害，効果不安定。
〔北興化学〕	とうもろこし	実 ・ 継	土 壤	播 種 後	500～600g	火山灰土	温暖地東 部	継：適用地域，土壌 拡大。
	かんしょ	実 ・ 継	土 壤	挿 苗 後	500～600g	火山灰土	温暖地東 部	継：薬量と効果・薬 害の確認。
13. KUH-813 乳 ・オルソベン カーブ…50% ・リニユロン ……7.5%	落 花 生	実	土 壤	播 種 後	60～80m/	全 土 壤 (砂土を 除く)	温 暖 地	
〔クミアイ化学〕	とうもろこし	実 ・ 継	土 壤	播 種 後	60～80m/	火山灰土	暖 地	継：適用地域の拡大。
						全 土 壤	寒冷地， 温暖地	
	ばれいしょ	実	土 壤	植 付 後	80～100m/	全 土 壤	寒 冷 地	
					60～80m/		温暖地， 暖地	
14. KUH-813 細粒 ・オルソベンカ ーブ……8% ・リニユロン ……1.2%	とうもろこし	実 ・ 継	土 壤	播 種 後	500～600g	全 土 壤	寒冷地， 温暖地， 暖地	継：適用地域の拡大。
	ばれいしょ	実	土 壤	植 付 後	500～600g	全 土 壤	温暖地，	

薬 剤 名 〔委託者名〕	対象作物	判定	処 理 法	処理時期	使用量 製品/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
14. KUH-813 細粒 (つづき) 〔クミアイ化学〕	ばれいしょ (つづき)						暖地	
15. MK-140N 水和 ・アクロニフェ ン………30% ・ニトラリン ………45% 〔三菱化成〕	大 豆	継						継: 効果・薬害の再 検討.
16. NC-302① フロアブル ・キザロホップ エチル…10% 〔日産化学〕	小 豆	実 ・ 継	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10ml	全 土 壌	寒地, <u>寒 冷地</u>	・イネ科雑草優占圃 場で使用する. ・体系処理: 広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る. 継: 低薬量(5ml) の検討. ・イネ科雑草優占圃 場で使用する. ・体系処理: 広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る.
	菜 豆	実 ・ 継	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10ml	全 土 壌	寒地, <u>寒 冷地</u>	
	かんしょ	実	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10ml	全 土 壌	<u>温暖地</u> , 暖地	
17. NP-55 乳 ・セトキシジム ………20% 〔日本曹達〕	ばれいしょ	実	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	15～20ml	全 土 壌	温暖地, 暖地	・イネ科雑草優占圃 場で使用する. ・体系処理: 広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る. 継: 全面処理の検討.
	<u>こんにゃく</u>	実 ・ 継	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	15～20ml	全 土 壌	寒冷地, 温暖地	
18. NS-100乳 ・フェンメディ ファム…13% ・デスメディフ ァム……3% 〔ビートW研究会〕	て ん 菜	実	茎 葉	広葉一年生 雑草発生揃 期	40 ml	全 土 壌	寒 地	
19. NS-101乳 ・フェンメディ ファム…10% ・エソフメセー ト………10% 〔ビートW研究会〕	て ん 菜	継						

薬 剤 名 〔委託者名〕	対象作物	判定	処 理 法	処理時期	使 用 量 製品/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
20. NY-842 水和 ・ピリデート ……………25% ・アトラジン ……………20% 〔日本農業、八洲 化学〕	とうもろこし	継						継：効果・薬害の再 検討。
21. PP-748液 ・PP-748 ……………25% 〔アイシーアイジ ャパン〕	大 豆	継						継：効果・薬害の再 検討。
22. S-28 細粒 ・ブタミホス ……………3% 〔住友化学〕	落 花 生	実 ・ 継	土 壌	播 種 後	500～600 g	火山灰土	温暖地、 暖地	・ツユクサに対して 効果が劣る。 継：適用土壌の拡大。
	ばれいしょ	実 ・ 継	土 壌	植 付 後	500～600 g	全 土 壌	寒 冷 地	
						火山灰土	温暖地東 部	
					400～500 g	全 土 壌	暖 地	
23. SKH-01 水和 ・シアナジン ……………50% 〔シェル化学、石 原産業〕	とうもろこし	実 ・ 継	土 壌	播 種 後	20～40 g	全 土 壌	温暖地以 北	継：適用地域、処理 時期の拡大。
			茎 葉	とうもろこ し4葉期	20～30 g	全 土 壌	寒 冷 地	
	ばれいしょ	実 ・ 継	土 壌	植付後萌芽 前	10～15 g	全 土 壌	寒 地	継：10gの効果の確 認。
24. SKH-301 乳 ・シンメスリン ……………50% 〔シェル化学〕	大 豆	継						継：効果・薬害の再 検討。
25. SL-236乳 ・フルアジホッ プ……………35% 〔石原産業〕	大 豆	実 ・ 継（従来通り）	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10m/	全 土 壌	全 域	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。 ・体系処理：広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る。 継：効果の確認。

薬 剤 名 (委託者名)	対象作物	判定	処 理 法	処理時期	使用 量 製品/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
26. SL-236① 乳 ・フルアジホッ プーPーブチ ル……17.5% 〔石原産業〕	大 豆	実	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10ml	全 土 壌	全 域	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。 ・体系処理：広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る。
	小 豆	実 ・ 継	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10ml	全 土 壌	寒 冷 地	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。 ・体系処理：広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る。
	葉 豆	実 ・ 継	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10ml	全 土 壌	寒地、寒 冷地	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。 ・体系処理：広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る。 継：低薬量(5ml) の検討。
	落 花 生	実	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	5～7.5ml	全 土 壌	温暖地、 暖地	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。 ・体系処理：広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る。
	か ん し ょ	実	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	5～7.5ml	全 土 壌	温暖地、 暖地	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。 ・体系処理：広葉雑 草対象の既登録土 壌処理剤を使用す る。
	て ん 菜	実	茎 葉	イネ科雑草 3～5葉期	7.5～10ml	全 土 壌	寒 地	
27. SSH-43 水和 ・イソウロン ……50% 〔塩野義製薬〕	さとうきび	実 ・ 継(従来通り)	土 壌	植 付 後	10～20g 〔ただし、 砂土～砂 壤土は10 ～15g〕	全 土 壌	暖地、沖 縄県	継：島尻マージでの 薬量、薬害の検討。
28. SSH-43粒 ・イソウロン ……1% 〔塩野義製薬〕	さとうきび	実 ・ 継(従来通り)	土 壌	植 付 後	600～800g 〔ただし、 砂土～砂 壤土は 200～400 g〕	全 土 壌	暖地、沖 縄県	継：島尻マージでの 薬量、薬害の検討。
29. SSH-55乳 ・トリフルラリ ン……14% ・プロメトリン ……6% 〔塩野義製薬〕	小 豆	継						継：効果・薬害の再 検討。
	陸 稲	継						継：効果・薬害の再 検討。
30. トリフルラリン乳 ・トリフルラリ ン……2.5% 〔塩野義製薬〕	小 豆	実	土 壌	播 種 後	25～30ml	全 土 壌	寒冷地、 温暖地	

薬 剤 名 (委託者名)	対象作物	判定	処 理 法	処理時期	使用量 製品/a	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
31. トリフルラリン 粒 ・トリフルラリン……2.5% 〔塩野義製薬〕	小 豆	実	土 壌	播 種 後	500~600g	全 土 壌	寒冷地, 温暖地	
	陸 稲	実	土 壌	播 種 後	400~500g	火山灰土	温暖地東 部	・イネ科雑草優占圃 場で使用する。 ・覆土2cm以下の 場合、薬害の恐れ あり、特に注意が 必要である。
					300~400g		暖 地	
32. YF-65①液 ・1,1'-エチレ ン-2,2'-ビ ピリジウムジ ブロミド ……7% ・1,1'-ジメチ ル-4,4'-ビ ピリジウムジ クロリド ……5% 〔アイシーアイジ ャパン〕	かんしょ	実 ・ 継	茎 葉	生育初期	60~80ml	全 土 壌	温暖地東 部	・畦間処理。 ・専用噴頭や飛散防 止カバーを使用す る。 ・低圧で、風向きな どに注意し、雑草 以外にかからない よう十分に注意す る。
	ばれいしょ	実 ・ 継	茎 葉	植付後、萌 芽前	40~60ml	全 土 壌	寒 冷 地	
	こんにゃく	実 ・ 継	茎 葉	植付後、萌 芽前	60~80ml	全 土 壌	寒冷地, 温暖地東 部	
				培土後、雑 草生育初期 (畦間処理)			温暖地東 部	

注) ① アンダーライン(実線)は、本年度拡大または追加された部分である。なお、薬剤名のアンダーラインは、本年度はじめて使用基準の作成されたものである。

② アンダーライン(点線)は、その一部が拡大されたものである。

昭和61年度水稻・畑作関係 生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和61年度水稻・畑作関係生育調節剤試験成績検討会は、昭和61年12月8~9日、薬業健保会館会議室(東京都千代田区永田町)において開催された。

水稻生育調節剤試験は、健苗育成を目的としたもの20剤(作用性14剤のべ22点、適用性8剤

のべ44点)、登熟向上を目的としたもの5剤(作用性5剤のべ11点、適用性2剤のべ10点)、倒伏軽減効果を目的としたもの14剤(作用性10剤のべ19点、適用性9剤のべ100点)、肥培管理と収量性の検討2剤(のべ12点)について成績の報告および検討が行なわれた。

また、畑作関係生育調節剤は、大豆・ばれいしょ・とうもろこし・かんしょ・てん菜等を対象として、合計14剤（作用性11剤のべ23点、適用性5剤のべ21点）の検討が行なわれた。なお薬剤別の判定結果および実用化薬剤の使用基準は、次表の通りである。

昭和61年度 水稻・畑作関係生育調節剤試験供試薬剤および判定・使用基準一覧

1. 水稻関係

A. 健苗育成

薬剤名 (商品名) (委託者名)	有効成分および 含有率(%)	試験目的	判定	実用化に対する処理法	継続の内容
1. AR-1 粉 (トモエ化学)	・ビタミンK ₃ 亜硫酸水素ナ トリウム付加 物……………1	〔作用性〕 ・生育促進。 〔適用性〕 ・活着および初期生 育促進。	継		・効果発現条件(処理 時期・処理方法など) についてさらに検討。
2. BAS-106 水和 (BAS-106 研究会(事:北 興化学工業))	・テトシクラシ ス……………1	〔適用性〕 ・徒長防止(播種量 増量)	(実・継)	〔種子浸漬処理〕 ・24~84時間種子浸漬(0.5 ~0.75g/l)。 ・播種直前5分間種子浸漬 (1.0g/l)。 〔体系処理〕 ・24時間種子浸漬(0.5g/ l)→イネ1葉期灌注処理 (1.0g/l, 散布水量500 ml/箱)。	・播種量増量および処 理方法について継続 検討。
3. CPS-1 液 (カルパー普及会 (事:日本パーオ キサイド))	・H ₂ O ₂ …5.5	〔適用性〕 ・ムレ苗防止。	継		・処理方法についてさ らに検討。
4. E-1 水和 (サカエ1号) (農作物栽培工学 研究所)	・糖質……………95	〔基礎〕 ・発根・活着促進, 増収効果。	継		・作用性についてさら に検討。
5. SF-8002 粉・液 (タチガレエース)	・ヒドロキシイ ソキサゾール 粉……………4.0 液……………30 ・メタラキシル 粉……………0.5 液……………4.0	〔適用性〕 ・ムレ苗防止, 生育 促進。 (処理時期, 濃度 の拡大)。	実	<粉 剤> ・床土混和处理(6~12g/ 箱)。 ・体系処理: 播種直前混和处理(6~8g/箱)→播種後 15~25日, タチガレン液剤 灌注処理(500倍液, 500 ml/箱)。 <液 剤> ・播種時灌注処理(500~ 1,000倍液, 500ml/箱)。	

薬 剤 名 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および 含 有 率 (%)	試 験 目 的	判定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
5. SF-8002 粉・液 (つづき) 〔三 共〕				・緑化時灌注処理(500～ 1,000倍液, 500ml/箱). TPNとの混用, 近接処理可 能.	
6. GR-144 水和 〔アグロカネショ ウ〕	・未公開……2	〔作用性〕 ・発根・活着促進.	継		・作用性についてさら に検討(処理方法).
7. HF-8220 粉 〔北興化学〕	・カスガマイシ ン……5.0 ・メタスルホカ ルブ……5.0	〔作用性〕 ・ムレ苗防止, 生育 促進.	継		・作用性, 適用性につ いて検討.
8. HF-8601 粉 〔北興化学〕	・メタスルホカ ルブ……8.0 ・oxadixyl ……0.5	〔作用性〕 ・ムレ苗防止, 生育 促進.	継		・作用性, 適用性につ いて検討.
9. MGC-140 水和 〔三菱瓦斯化学〕	・塩化コリン ……10	〔作用性〕 ・発根促進, ムレ苗 防止.	継		・作用性についてさら に検討(処理方法).
10. MH-59乳 〔三井東圧化学〕	・天然ワックス ……15	〔作用性〕 ・萎凋防止, 植え痛 み防止.	継		・作用性, 適用性につ いて検討.
11. MO ₂ 粉 〔保土谷化学〕	・MgO ₂ ……23	〔適用性〕 〔灌水土壤直播〕 ・低温条件での発芽, 苗立ちの安定化.	継		・効果の確認および処 理方法についてさら に検討.
12. MT-131 水和 〔三井東圧化学〕	・新規化合物 (未)……20	〔作用性〕 ・健苗育成効果.	継?		・作用性について再検 討.
13. NK-191粉 (カヤベスト) 〔日本化薬〕	・メタスルホカ ルブ……10	〔適用性〕 ・根部生育促進, 徒 長防止, 苗の充実 度, 活着促進. (低薬量での検討)	(実・ 継)	<ムレ苗防止> ・土壤混和処理(6～8g/ 箱, 育苗方式は箱積方式と し, 砂質土壤を除く).	・徒長防止, 健苗育成 について継続検討.
14. NTN-821 水和	・1-シクロヘ キシル-4,4- ジメチル- 2-(1,2,4- トリアゾー ル-1-イル)- 1-ペンテ ン-3-オール……5	〔適用性〕 ・徒長防止効果. (温暖地西部以西)	実・ 継	〔種子浸漬処理〕 ・催芽後期2～24時間種子浸 漬(0.5～2g/l). ・種子消毒同時24時間種子浸 漬(1～2g/l). 〔出芽時灌注処理〕 ・出芽時灌注(10～25ppm, 500ml/箱)	・処理方法および播種 量増量について継続 検討

薬 剤 名 (商 品 名) (委託者名)	有効成分および 含 有 率 (%)	試 験 目 的	判定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 続
14. NTN-821 水和 (つづき) (日本特殊農薬製 造)				〔体系処理〕 ・催芽後2時間種子浸漬 (0.5~1g/l)→イネ1.5 葉期灌注(50~100ppm, 50ml/箱)。	
15. OKG-61粉 (カルバック) (岡田工業)	・乳酸桿菌醗酵 産物………29	〔作用性・基礎〕 ・健苗育成、発根促 進。	継		・作用性についてさら に検討(効果の確認)。
16. PP-333 フロアブル (アイシーアイジ ャパン)	・バクロブトラ ゾール…2.0	〔作用性〕 ・徒長防止効果、苗 質向上。 〔適用性〕 ・(高濃度短時間浸 漬処理)。 ・(種子消毒時同時 処理) ・(催芽後期処理)	実 ・ 継	〔種子浸漬処理〕 ・催芽後期5~24時間種子浸 漬(25~50ppm)。 ・ <u>種子消毒時48時間種子浸漬</u> (100~200ppm)。	・処理方法(乾粒短時 間および48時間浸漬 処理など)、本田生 育への影響について 継続検討。
17. Rhodopseu- domonas 菌 液 (光合成の素) (日本食品工業)	・光合成細菌	〔基 礎〕 ・ガス害による根痛 み防止。	継?		・処理方法の再検討。
18. RIC-1 液 (ケルバック66) (ロイヤルインダ ストリーズ)	・海藻ホモジネ ート	〔作用性〕 ・活着促進。	継		・作用性についてさら に検討(効果の確認)。
19. SKRBL 粒 (神協産業)	・珪酸…61.24 ・その他Al, P 等………23.46	〔作用性・基礎〕 ・低温条件下での生 育促進。	継		・作用性、適用性につ いて検討(効果の確認)。
20. KR-101 ペレット状・粉 (ワカーズ) (香蘭産業)	・未公開	〔作用性〕 ・根部生育促進、ガ ス害防止。	継		・作用性についてさら に検討(効果の確認)。

B. 登 熟 向 上

薬 剤 名 (商 品 名) (委託者名)	有効成分および 含 有 率 (%)	試 験 目 的	判定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
1. イソプロチオラ ン 粒 (フジワン) (日本農薬)	・ジイソプロピ ル-1,3-ジ チオラン-2 -イリデンマ ロネート…12	〔作用性・適用性〕 ・生育不良条件にお ける根部の活力増 強による登熟向上。	継		・作用性(効果発現条 件、作用機構)、適 用性(不良条件下で の効果)について検 討。

薬 剤 名 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および 含 有 率 (%)	試 験 目 的	判定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
2. MGC-140 液 〔三菱瓦斯化学〕	・塩化コリン ……………30	〔作用性〕 ・登熟促進.	継		・作用性、適用性について検討(効果の確認).
3. NSKG-83 液 (バイトロン) 〔日本食品工業〕	・プロリン…1 を主体とした ・ウラシル…1 液体複合肥料	〔基 礎〕 ・増収効果. ・品質向上(光合成 細菌との体系処理 によるガス発生田 での登熟向上).	継?		・処理方法について再 検討.
4. RIC-1 液 (ケルパック66) 〔ロイヤルインダ ストリーズ〕	・海藻ホモジネ ート	〔作用性〕 ・増収効果. ・品質向上.	継		・作用性についてさら に検討(効果の確認).
5. TE-100液 〔帝 人〕	・トリアコンタ ノール	〔作用性・適用性〕 ・増収効果. ・秋おち防止効果.	継		・作用性、適用性につ いて検討(効果の確認, 作用機構の解明).

C. 倒 伏 軽 減

薬 剤 名 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および 含 有 率 (%)	試 験 目 的	判定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
1. CGR-811 水和・粒 (セリタード) 〔中外製薬〕	・イナベンフィ ド 水和……………50 粒……………6	〔作用性〕 ①移植前水和剤単用 処理. ②水和剤→粒剤体系 処理. ③生理活性に関する 基礎検討. 〔適用性〕 ・水和剤→粒剤体系 処理. ・土壌条件と効果の 安定化(温暖地以 西).	継		・効果の発現条件(土 境、品質、地域間差 など)および水和剤 →粒剤体系処理につ いて検討.
2. CGR-811 水和 (セリタード) 〔中外製薬〕	・イナベンフィ ド……………50	〔適用性〕 ・移植前水和剤単用 処理での効果.	継		・効果の確認(移植前 単用処理).
3. CGR-811 粒 (セリタード)	・イナベンフィ ド……………6	〔適用性〕 ・倒伏軽減効果の確 認. ・品種別検討. ・3年間連年施用.	実 ・ 継	<倒伏軽減> ・出穂前60~40日, 200~400 g/a.	・効果の変動条件(品 種、作型、地域、年 次など)および土壌 残留性(生わらすき 込み、積雪、野菜・ 飼料作物への影響な

薬 剤 名 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および 含 有 率 (%)	試 験 目 的	判定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
3. CGR-811 粒 (つづき) 〔中外製薬〕					ど)について継続検討.
4. CGR-811 ①粒 〔中外製薬〕	・イナベンフィ ド……………5	〔適用性〕 ・低含量製剤による 倒伏軽減効果の検討.	継		・効果の確認.
5. HGR-90 乳 〔保土谷化学工業〕	・未公開……………50	〔作用性〕 ・倒伏軽減効果.	継		・作用性, 適用性について検討(効果の確認).
6. Hoe-784 粒 〔ヘキストジャパン〕	・未公開……………1	〔作用性・基礎〕 ・倒伏軽減効果.	継		・処理方法についてさらに検討.
7. KUH-833 乳 〔クミアイ化学工業〕	・未公開……………10	〔作用性・適用性〕 ・倒伏軽減効果(全面茎葉散布).	継		・作用性, 適用性について検討(処理方法, 展着剤の改良).
8. MK-210 粒 〔三菱化成工業〕	・未公開……………2.5	〔作用性〕 ・倒伏軽減効果.	継		・作用性, 適用性について検討(処理方法).
9. MT-131 水和 〔三井東圧化学〕	・未公開……………20	〔作用性〕 ・倒伏軽減効果.	継?		・作用性について再検討.
10. NNP-100 粒 〔日本農薬, アイ シーアイジャパン〕	・イソプロチオ ラン……………12 ・パクロブトラ ゾール……………0.45	〔作用性・適用性〕 ・不良条件下での倒 伏軽減作用と登熟 向上作用についての 検討.	継		・効果の確認(登熟向上効果).
11. NTN-821 粒 〔日本特殊農薬製 造〕	・1-シクロヘ キシル-4,4- ジメチル- 2-(1,2,4- オトリアゾ ール-1-イル)- 1-ペンテ ン-3-オール ……………1	〔作用性〕 ・作用性の解明. 〔適用性〕 ・効果の確認(寒冷 地: ササニシキ対 象). ・3年間連年施用.	実 ・ 継	<倒伏軽減> ・出穂前15~10日, 300 g/a.	・効果の変動条件(多 肥栽培, 火山灰土壌 など)および土壌残 留性(生わらすき込 み, 積雪, 野菜・飼 料作物への影響など) について継続検討.
12. PP-333 フロアブル・粒	・パクロブトラ ゾール フロアブル	〔作用性・適用性〕 ・移植直前処理での 検討.	継		・効果の確認および処 理方法についてさら に検討.

薬 剤 名 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および 含 有 率 (%)	試 験 目 的	判定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
12. PP-333 フロアブル・粒 (つづき) 〔アイシーアイジ ャパン〕	……………2 粒……………0.6				
13. PP-333 粒 〔アイシーアイジ ャパン〕	・バクロブトラ ゾール…0.6	〔適用性〕 ・効果の確認と使用 量. ・現地試験. ・3年間連年施用.	実 ・ 継	＜倒伏軽減＞ ・出穂前15～10日, 300 g/a.	・効果の確認(処理時 期, 使用量), 現地 試験および土壌残留 性(生わらすき込み, 積雪, 野菜・飼料作 物への影響など)に ついて継続検討.
14. S-327・D 粒 〔住友化学工業〕	・ウニコナゾー ル……………0.04	〔作用性〕 ・処理時期の拡大検 討. 〔適用性〕 ・効果の確認. ・3年間連年施用.	実 ・ 継	＜倒伏軽減＞ ・出穂前15～10日, 300 g/a.	・効果の変動条件(多 肥栽培など), 処理 方法(時期など)お よび土壌残留性(生 わらすき込み, 積雪, 野菜・飼料作物への 影響など)について 継続検討.

D. 肥培管理と収量性

薬 剤 名 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および 含 有 率 (%)	試 験 目 的	判定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
1. S-327・D 粒 〔住友化学工業〕	・ウニコナゾー ル……………0.04	〔作用性〕 ・肥培管理と収量性.	継?		・作用性について検討.
2. CGR-811 粒 (セリタード) 〔中外製薬〕	・イナベンフィ ド……………6	〔作用性・適用性〕 ・施肥条件と収量性.	継?		・作用性について検討.

2. 畑 作 関 係

薬 剤 名 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および 含 有 率 (%)	作 物 名	試 験 目 的	判定	実用化に対する 処 理 法	継 続 の 内 容
1. AR-1 液 〔トモエ化学工業〕	・ビタミンK ₃ 亜硫酸水素ナ トリウム付加 物……………5	大 豆 とうもろ こし ばれいし よ	〔作用性〕 ・増収効果. 〔作用性〕 ・増収効果. 〔作用性〕 ・デンプン含量増加 効果.	継		・作用性についてさ らに検討.

薬 剤 名 (商 品 名) 〔委託者名〕	有効成分および 含 有 率 (%)	作 物 名	試 験 目 的	判定	実用化に対する 処 理 法	継 続 の 内 容
2. AR-1 粉 〔トモエ化学工業〕	・ビタミンK ₃ 亜硫酸水素ナ トリウム付加 物……………1	大 豆	〔作用性〕 ・初期生育促進効果.	継		・作用性についてさ らに検討.
		とうもろ こし	〔作用性〕 ・初期生育促進効果.			
3. Au-29 液 〔アミノアップ化 学〕	・サイトカイニ ン	大 豆	〔作用性〕 ・初期生育促進効果.	継		・作用性についてさ らに検討.
		とうもろ こし	〔作用性〕 ・生育, 発根促進効 果.	継?		
		ばれいし ょ	〔適用性〕 ・塊茎化促進. ・ライマン化向上効 果.	継		・処理時期, 処理量 についてさらに検 討.
		てんさい	〔作用性〕 ・育苗期の発根促進. ・根部肥大効果.	継		・作用性についてさ らに検討.
4. Au-29 水和 〔雪印種苗〕	サイトカイニン	ばれいし ょ	〔作用性〕 ・生育促進. ・増収効果.	継		・作用性についてさ らに検討.
		てんさい	〔作用性〕 ・生育促進. ・増収効果.			
5. 改良C-MH 液 〔日本ヒドラジン 工業〕	・マレイン酸ヒ ドラジドコリ ン塩……………39	かんしょ	〔適用性〕 ・つるの徒長抑制に よる増収効果.	実 ・ 継	・茎葉処理, 植付後 70~90日, 40~50 ml/a.	・処理時期, 回数に ついて継続検討.
		ばれいし ょ(S60)	〔適用性〕 ・貯蔵中の萌芽抑制 効果(萌芽抑制効 果の検討…前回未 検討).	実		
		ばれいし ょ	〔適用性〕 ・貯蔵中の萌芽抑制 効果.		・茎葉処理, 黄変期 2~3週間前, 80 ~100倍(寒地). 収穫2~3週間前, 80~120倍(寒冷 地以西).	
		てんさい	〔適用性〕 ・貯蔵中の萌芽抑制 効果(収量性の検 討).	実		
		てんさい	〔適用性〕 ・増収(増糖)効果.	継		・効果の確認.

薬 剤 名 (商 品 名) (委託者名)	有効成分および 含 有 率 (%)	作 物 名	試 験 目 的	判定	実用化に対する 処 理 法	継 続 の 内 容
6. GR-134 水和 〔アグロカネショ ウ〕	・未公開……60	大 豆	〔作用性〕 ・増収効果。	継		・作用性についてさ らに検討（処理時 期など）。
		小 豆	〔作用性〕 ・増収効果。			
7. HK-1 液 〔沖本商事〕	・海藻（アスコ フィルムソド サム）の抽出 成分	秋ばれい しょ	〔作用性〕 ・増収。 ・品質向上効果。	継		・作用性についてさ らに検討。
8. イソプロチオ ラン 粒 〔日本農薬〕	・イソプロチオ ン………12	こんにゃ く	〔適用性〕 ・増収効果。	継		・効果の確認。
9. MGC-140 液 〔三菱瓦斯化学〕	・塩化コリン ………30	かんしょ	〔適用性〕 ・肥大促進効果。	実	・苗浸漬，20 ppm， 24時間。 ・茎葉処理，植付後 30～50日，1,000 ～1,500 ppm（マ ルチを含む）。	
		大 豆	〔作用性〕 ・増収効果。	継		・適用性について検 討。
		小 豆	〔作用性〕 ・増収効果。			
10. MGC-140 水和 〔三菱瓦斯化学〕	同 上 ………10	かんしょ	〔適用性〕 ・肥大促進効果（液 剤との比較）。	継		・効果の確認（液剤 との比較）。
11. S-327・D 水和 〔住友化学工業〕	・ウニコナゾー ル………5	てんさい	〔作用性〕 ・抽だい防止効果。	継		・作用性についてさ らに検討。
12. RIC-1 液 〔ロイヤルインダ ストリーズ〕	・海藻ホモジネ ート……100	ばれいし ょ	〔作用性〕 ・増収・品質向上効 果。	継		・作用性についてさ らに検討。
13. E-1 水和 〔農作物栽培工学 研究会〕	・糖質………95	ばれいし ょ	〔作用性〕 ・増収・品質向上効 果。	継		・作用性についてさ らに検討（処理方 法）。
14. GF-30 乳	・ワックス…10 ・水分等……90	大 豆	〔作用性〕 ・蒸散抑制による増 収。 ・品質向上効果。	継		・作用性についてさ らに検討。
		小 豆	〔作用性〕 ・蒸散抑制による増			

薬 剤 名 (商 品 名) (委 託 者 名)	有効成分および 含 有 率 (%)	作 物 名	試 験 目 的	判定	実用化に対する 処 理 法	継 続 の 内 容
14. GF-30 乳 (つづき)		小 豆 (つづき)	収, ・品質向上効果.	継		
		ばれいし よ	〔作用性〕 ・蒸散抑制による増 収. ・品質向上効果.			

注) アンダーラインは本年度拡大された部分を示す。

農薬は正しく使いましょう。

● 水田中期除草剤

**低温時でも
安心して使える！**



ウキクサ・モ類にもバッチリ効いて経済的

アピロサン[®]粒剤

- 一年生雑草及びヒルムシロ、ヘラオモダカ、ホタルイ、ミズガヤツリを低コストで防除。
- 低温時でも薬害の心配がない。

一発処理もできる中期除草剤

ワイダー[®]粒剤

- ヒエはもとより、ウリカワ、クログワイ、オモダカ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロなど多くの多年生雑草に高い効果。
- 低温時でも薬害の心配がない。

アピロサン・ワイダー普及会
 武田薬品工業(株)・石原産業(株)
 日本チバガイギー・BASFジャパン

財団法人 日本植物調節剤研究協会
 東京都台東区台東1丁目26番6号
 電話 東京(03)832-4188(代)

編集人 日本植物調節剤研究協会専務理事 吉沢長人
 発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

昭和62年2月発行
 植調第20巻第11号

定価400円(送料170円)

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
 発行所 植調編集印刷事務所
 電話 東京(03)833-1821番(代)



三共株式会社

北海三共株式会社
九州三共株式会社



一剤一剤に心がある。三共農薬

- ムレ苗・苗立枯病を防いで健苗をつくる

タチガレエース 粉剤

- 安定した健苗育成に
冷害年の減収防止(登熟向上)にも

タチガレン 粉剤
液剤

- 天然物誘導型総合殺虫剤

カルホス 乳剤 粉剤
微粒剤F

- 桶に安全
多年生雑草にも効く水田初期除草剤

サンバード 粒剤

- 水田初期一発処理剤

クサカリン 粒剤25

クサホープ 粒剤

らくらく散布で多年草も防除



容器のまま代かき時に

散布できる水田除草剤

デルカット®
(オキサジアゾン・ブタクロール除草剤) **乳剤**

★安全で省力的な機械散布もできます。

——— デルカット普及会 ———

日産化学・北興化学・ローヌ・プーラン アグロ・日本モンサント

〈事務局〉日産化学工業(株)農薬事業部内 東京都千代田区神田錦町3-7-1

®：日本モンサント(株)登録商標

種子から収穫まで護る ホクコー農薬

初期除草剤

デルカット[®]乳剤
ロンスター[®]乳剤
モータウン[®]粒剤
クサカリン[®]粒剤
サリオ[®]粒剤
マーシェット[®]粒剤2.5

中期除草剤

セスロン[®]粒剤
バサグラン[®]粒剤
(ナトリウム塩)

初・中期一発処理除草剤

リードゾン[®]粒剤
クリアラント[®]粒剤

水稻倒伏軽減剤

新
発売

セリタート[®]粒剤



農協
経済連
全農



北興化学工業株式会社
東京都中央区日本橋本石町4-4-20

豊かなみのりを...



■多くの作物に使える除草剤

トレファノサイド[®]乳剤 粒剤2.5



シオノギ製薬

大阪市東区道修町3-12 〒541

流れは一発、ワンオール



ワンオール粒剤の特長

広範な雑草を防除

ノビエなどの1年生雑草はもとより、ウリカワ、ホタルイなどの多年生雑草まで広範な雑草に高い除草効果を示します。

安定した除草効果

処理適期幅が広く、気象の年次変動や雑草のダラダラ発生の状態においても安定した除草効果を発揮します。

抑草効果は長期間

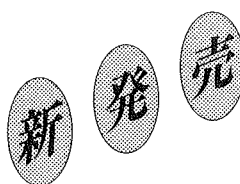
雑草の発生を長期間にわたって抑えます。そのため中期剤を省略することができます。

高い安全性

水稻に対する安全性が高いうえ、温度や土壤条件によって影響されることも少ないので、安心して使えます。

人畜、魚介類に安全

人畜に対する毒性は低く、魚介類に対しても影響の少ない除草剤です。



水田初期一発処理除草剤

ワンオール®
粒剤



農 協
経 済 連
全 農

ワンオール協議会

全国農業協同組合連合会
日本チバガイギー株式会社

石原産業株式会社
八洲化学工業株式会社

事務局 石原産業株式会社
東京都千代田区富士見2-10-30

資料請求券
ワンオール



効きめの長さを、あらゆる雑草で 証明するラウンドアップ。

「枯らしてもすぐ生える」というイライラに終止符。

ラウンドアップは、雑草の葉から入って根まで枯らします。根まで枯らしてしまえば、どんな雑草でも、長い間抑えることができます。

有用植物の根から吸収されません。

ラウンドアップは、いったん地面に落ちると、ただちに土の粒子に吸着され薬効を失います。ですから有用植物の根からは吸収されませんので作物には安全です。

取扱いが容易で、安心してご使用できます。

ラウンドアップは、動・植物の体を構成しているアミノ酸という自然な物質が主成分ですから、きわめて安全性が高く、取扱いも容易で安心してお使いいただけます。



®米国モンサント社登録商標

●ラウンドアップを詳しく説明したパンフレットを差し上げております。下記の住所までお申し込みください。

ラウンドアップ普及会クミアイ化学工業(株)・三共(株)

事務局 日本モンサント株式会社農園事業部

〒100 東京都千代田区丸の内3-1-1国際ビル Tel.(03)287-1251

資料請求券
R-1000

一年生・多年生雑草を

まとめて枯らす

●水田初期一発除草に

クサホープ® 粒剤

●水田の体系除草に

クミアイ
ソルネット® 粒剤

初期

中期

クミリード® SM 粒剤

または

サターン® S 粒剤



農協・経済連・全農

自然に学び 自然を守る



クミアイ化学工業株式会社

本社／〒110-91 東京都台東区池之端1-4-26 TEL.03-823-1701



確かな効き目で、農作業にゆとりを作る！

マメット® SM 粒剤

(水田中期除草剤)

- ノビエの3.5葉でも効果バッチリ！
- 多年生雑草にも効果抜群！
- 確実な雑草防除で、経済的！
- 残効が長く、省力的！
- 稲に安全、他剤の近接散布もOK！

■雑草の発生に合わせて姉妹品の

マメット® 粒剤、**オードラム® M 粒剤**

もお使いください。

モリネット普及会